

第44号

平成30年 7月 1日発行  
— 編集・発行 —  
豊津地区まちづくり委員会  
(広報記録専門部)

# とよつだより

## 第36回北浦一周サイクリング

北浦浄化キャンペーン  
五月十二日(土)恒例の北浦一周サイクリングが催されました。  
今年度は例年より児童の参加者が多く、賑やかに行われました。(関連記事 二面)



於：潮来市 白鳥の里



### 今年度もよろしくお願いします

まちづくり委員会 和田勉委員長

豊津まちづくり委員会も総会が無事終了し、スムーズにスタートいたしました。  
特に、役員の大きな入れ替わりもなく、継続して活動していただけることに大変感謝申し上げます。  
本年は、『地域が元気になるため』に何をしなければならぬかを目的として、活動していきたいと思っております。  
何卒、皆様のご協力をよろしくお願いいたします。



### 沢畑新センター長 着任あいさつ

本年四月から、

センター長を拝命しました沢畑好一です。よろしくお願いたします。  
心地よい風が北浦を渡り、自己啓発のために何かを始めるとは最適な季節になりました。自分に合ったやり方で、スポーツ・文化活動、趣味・レクリエーション活動、ボランティア活動などチャレンジしてみましよう。



### 高安前センター長 退任あいさつ

七夕の候、水田

の風景も、一段と美しい季節となりました。  
さて、私 高安広子は、三月三十一日を以て、豊津まちづくりセンター長を退任いたしました。  
在任中は長きに渡り皆様に大変お世話様になり、ありがとうございました。  
住民主体の「まちづくり」と言う名のもとに、多くの方々の惜しみないご尽力を賜り、数々の事業を実施してまいりました。その積み重ねの歳月の中で、老若男女、幅広い層の皆様との連携から大切な「絆」も育まれたのではないのでしょうか。

まちづくりセンターの職員は、様々な活動にチャレンジする皆さんを笑顔でお待ちしております。また皆さんが気持ちよく活動できるようにサポートしていきます。  
これからも自己を高める場として、また地域の交流の場として、まちづくりセンターの効果的な活用をお願いいたします。

これからは、微力ながら地域に恩返しできればと思っております。重ね重ね、ありがとうございました。

北浦一周  
サイクリング  
☆36th



Photographs



**サイクリングコース**  
 公民館…一の鳥居…森の稲荷様…堤防…  
 セイコーマート中店(休憩)…北浦大橋…  
 白浜ウォーキングセンター…白浜少年自然  
 の家(昼食)…堤防…白鳥の里…堤防…  
 神宮橋…公民館

**写真説明**  
 ①北浦大橋を渡り終える ②北浦湖畔を走る  
 ③白浜少年自然の家の坂道を押して上る。  
 ④六年間完走者表彰  
 (左)6年生 浅間 梓名(あずな)さん  
 (中)6年生 山町 詩音(しおん)さん  
 これから期待します賞  
 (右)2年生 山町 彩奈(さな)さん  
 ⑤箕輪さん(サイクリングの産みの親)講評  
 ⑥一の鳥居の前で記念写真  
 ⑦サイクリングの安全を守るバイク隊



### 白熱した(?) 熱戦が展開

5月13日(日)、リニューアルオープンしたばかりのト伝の郷運動公園で、今年度のソフトボール大会が行われました。

2つのグラウンドで3チームずつのリーグ戦を行い、それぞれの1位チームで決勝戦を行いました。(結果は、以下のとおり)

老若男女入り交じり、笑い声が聞こえながらも、みんな必死の形相でボールを追いかけました。皆さん、お疲れ様でした。

#### <結果>

- 優勝 大船津第2区
- 準優勝 爪木A



### 楽学セミナー

6月9日(土)

#### 第1回やさしいデジカメ講座

～写真撮影を楽しむために～

沢畑新館長が自ら講師になり、デジカメ講座を開催しました。館長は趣味がカメラ撮影ということで腕前はセミプロ級(自称)です。

講座の前半では、館長手作りの冊子でカメラのいろはを学びました。後半は、各自持参したカメラで紫陽花を撮り、ベストな一枚をプリントして出来栄を比べ合いました。



最終目標は、とよつまつりの写真展へ出展することです。みんな、きばいもんぞ!



きばいもんぞ = 鹿児島弁で『がんばります』

#### 「地域サロン」に参加してみませんか?

豊津地区社会福祉協議会(うらら会)が主催し、豊津地区まちづくり委員会が協力する『地域サロン』が今年で二年目に入りました。地域の皆さんの「仲間づくり」・「出会いの場づくり」・「健康づくり」を目指して開催しています。おしゃべり、歌、体操、お茶っこなど、思い思いに楽しいひと時を過ごしませんか。



★友結サロン(豊津まちづくりセンター) 開催日時など、詳しくは豊津まちづくりセンターへお問い合わせください。

#### ★高齢者スポーツ大会

##### 各部門優勝者

- ・クロッケーの部 大船津B(郡司みよ子さん)
- ・大川みささん、藤枝洋子さん
- ・グラウンドゴルフの部 黒須はるさん(大船津)
- ・輪投げの部 君和田美佐子さん(爪木)

5月30日(水)開催



#### かるためぐりシリーズ②



絵札描く 豊津小のこどもたち

この札は、正月恒例のとよつかるた大会で、いつもお手付きをさせるために読まれることが多い札として、覚えている人も多いかと思えます。

でも中には「え」って何て読むの? という人もいるかもしれませんので解説しますと、「え」と読みます。辞書によると、『「恵」の草体であり、古くは「え」と発音上区別があったが、のち、両者は発音上の区別がなくなった。』とあります。

「英霊の 御霊鎮めん 忠魂碑」が、同じ発音の「え」で始まりますので、ちやんと聞いてから取らないとお手付きになります。とよつかるた大会に出る人は良く覚えておきましょう。

この「絵札」とは、とよつかるたの絵札で、平成十六年度にとよつ親子かるた編集委員が作成したとよつかるたの読み札に合わせ、豊津小のこどもたちが絵札を描いた様子を読んだものです。ひらがなは全部で四十八文字ありますが、とよつかるたには「ゐ」と「ん」を除いた四十六枚の絵札があります。生徒数が少ない豊津小の子どもたちが良くこれだけの枚数をかけたものだと改めて感心します。

### 平成30年度の 区長さんです



よろしくお願ひします。

後列中  
＜大船津第1区＞  
和出 健二さん

後列左  
＜大船津第2区＞  
小室 富保さん

前列左  
＜大船津第3区＞  
海老澤 惠次さん

後列右  
＜大船津新田区＞  
宮崎 義和さん

前列右  
＜爪木区＞  
君和田 一之助さん

### 子育て支援 (びよびよ応援隊)

5月17日(木)親子リトミックが豊津公民館和室にて開催されました。参加者は、保護者4名と幼児4名の8名でした。

講師の谷藤先生、長原先生の指導のもと、楽しく和やかな時間が流れ、微笑ましいリトミック体験となりました。次回の7月19日も楽しみです。♪



(田植え体験)



## とよつキッズ

五月二日(水) 高安さん(前センター長)の水田で、豊津小五・六年生が田植えを体験しました。参加者二十四名は、慣れない田んぼのどろんこに、ズボンをまくり素足になり準備万端。美味しいお米に育つ命の芽(苗)を、大切かつ丁寧に植えました。秋の収穫が楽しみです。一人一人の児童にとって貴重な体験になったことと思います。  
五月二十六日(土) リトルファーム)夏野菜(トウモロコシ・枝豆)  
参加した三十七名の子どもたちは、楽しい収穫を想像しながら肥料振りや、夏野菜の種まきをしました。作業後のカレーは格別の味だったようです。

今年度のまちづくりセンターです。  
ご活用よろしくお願い致します。

今年度の職員は、新しく沢畑好一(よしかず)センター長(大船津)が就任、市の地域活動支援員が大川悟(新田)(昨年度までは今泉富司さん)に替わりました。

主事の藤城知子、黒須ゆき、遠藤和子そして地域福祉推進員の笹本恵子の女性陣に変更はありません。みんな笑顔でお待ちしていますので、ぜひ、まちづくりセンター(公民館)へ気軽に立ち寄りください。



### つぶやき

企業の不祥事や政財界の隠いだけでなく、スポーツ界まで真実を隠そうとするこの時世。唯一の救いはアメフト部員の告白です。犯した過ちは消えませんが、勇気ある決意行動と思います。今は何でもあやふやにして長いものに巻かれてしまふことが多いですが、自分の信念・誠実・正直さを貫くことが大事です。(は)

第45号

平成30年11月15日発行  
— 編集・発行 —  
豊津地区まちづくり委員会  
(広報記録専門部)

# とよつだより

## 第13回 ~豊津の輪 笑顔をつなぐ 運動会~ とよつふれあい運動会

10月13日(土)



区対抗リレー 各地区の健脚自慢が激戦を繰り広げました!

肌寒く、時折雨粒が落ちてくるといったあいにくの天気でしたが、みんなの頑張りで無事最後の種目まで終えることができました。  
例年どおり前半は小学生の種目を中心に、午後からは地区住民が参加できる種目を行いました。  
豊津小の子どもたちが一生懸命に競技する姿、地区対抗種目で繰り広げられる抜きつ抜かれつの接戦に、観覧席から大きな声援が送られていました。  
最終的には優勝した地区から六位の地区まで順位がつけられましたが、どの地区も競技後の笑顔が一番でした。

総合順位	優勝	大船津第一区
優二	三位	新田区
三	位	大船津第二区
玉入れ	優勝	大船津第二区
優二	三位	新田区
三	位	爪木B
綱引き	優勝	大船津第一区
優二	三位	新田区
三	位	大船津第二区
地区対抗リレー	優勝	大船津第一区
優二	三位	新田区
三	位	大船津第三区

副大会長 和田 勉(委員長)  
今年、実行委員会を開催した九月十一日に茨城新聞に『地域で楽しめる運動会』と題した紹介記事が掲載されました。とよつふれあい運動会は、豊津小の子ども達の活躍を地域の人たちが一堂に集まり見守りに行く日です。当日はとても寒い中ではありましたが、無事開催が出来ました。四世代の家族も参加して楽しい運動会でした。これからも、子ども達には地域の私たちに元氣と感動をたくさん与えて欲しいと願っております。



とよつふれあい運動会を終えて  
大会長 平賀康意(豊津小校長)  
十三回目を数える「とよつふれあい運動会」が多数のご来賓を迎えて、盛大に挙行できました。多くの方に支えられ運営される運動会で、本校児童も地域の方々も楽しく活動できました。今回は、テレビの撮影もあり、学校と地域が一体となって楽しんでいるこの豊津地区の運動会が日本中の人たちに少しでも知ってもらえることをうれしく思います。今後も学校と地域の協力により、未永く続けたい行事です。



紅白対抗リレー



組体操2018  
キマッタ!!



いざ勝負!豊津秋  
の陣(棒引き)

寒かったけどHotな一日  
**運動会の一コマ**

おぼけのQちゃん



妖怪退治  
だ!

今年も大暴れ!  
山町じいちゃん

**少数精鋭 豊津の子**



**五輪でリンリン**  
東京オリンピック2020  
サッカー開催地として、五  
輪にちなんだ種目を採用。  
自転車の輪(リム)回し



負けずにゴール



おしりで椅子ドン  
ケツ圧で勝負!



ト伝新当流  
お突きー!!



クイズチャンピオン  
優勝者は郡司さん



どうぶつにへんしーん  
何に変身しても可愛い



地区対抗種目 (左から) **玉入れ**・**綱引き**・**リレー**



テレビ東京が取材に  
「世界!ニッポン行きたい人応援団」で放映予定です。  
11月19日(月)18時55分から(地上波7チャンネル)

### 身近な薬を再勉強！

7月24日、28名の参加の下、『お薬の豆知識』をテーマに高齢者教室を開催しました。



講師の石神修さん（与一薬局・薬剤師）から、薬との上手な付き合い方に加え、薬の処方時だけではなく、薬に関して少しでも疑問に感じたら気軽に相談してほしい、と健康管理のパートナーとしての薬剤師との付き合い方も教えてもらいました。

<感想>

- ・わかりやすくてよかった。（大船津・坂本さん）
- ・あらためて薬との付き合い方を教えていただきました。（大船津・黒須さん）

### 子育て支援 元気に活動中

9月20日、今年度3回目の子育て支援～親子リトミック～を開催しました。



豊津まちづくりセンターでの「親子リトミック」も定着し、今回は9組の親子が参加しました。音楽に合わせたリズム体操の他に、ウレタン製の円柱の遊具も子どもたちには好評で、和室いっぱい可愛い声が響き渡っていました。



今年度は、11月が最後の開催になります。来年度も、多くの親子の参加をお待ちしています。

### とよつキッズ

#### ホタル学習会・見学会

七月七日（土）、豊津まちづくりセンターで、ホタル学習会・見学会を開催しました。今年も、子どもも四十八名、大人四十名と多くの方が参加してくれました。

#### 移動教室

八月二十二日（水）に千葉市科学館へ二十名（子ども九名・大人十一名）で行って来ました。

科学館では、月の重力を体験。地球と違い、月だどちよつと跳ねても大ジャンプ。面白体験でした。

#### 参加者感想



- ・普通に歩いているのに月だと大ジャンプになることを体験しました。楽しかった。 鬼澤 佑輔くん 4年
- ・プラネタリウムの中で、皆既日食が見ることができました。 飛田 悠翔くん 5年
- ・目や耳の錯覚を利用して音や光の不思議な現象を体験できるコーナーが楽しかった。 松本 琥太郎くん 5年
- ・床に寝ているいろいろな姿勢をとると、壁に登って見えるコーナーがとても楽しかった。 郡司 ゆあさん 2年
- ・プラネタリウムでいろいろな星があることを知りました。良かったです。 菅原 柚希くん 2年
- ・プラネタリウムの中でポケモンが登場するのが、うれしかったです。 中村 綾乃さん 2年

#### 収穫祭

八月五日（日）、リトルファームで採れた野菜をいただく収穫祭が行われました。皆たわわに実った枝豆とトウモロコシ。皆で収穫し、調理して美味しくいただきました。ごちそうさまでした。



▲ 収穫祭の様子



▲ 楽しく学んできました



#### かるためぐりシリーズ ②



よしきり 水神社  
よしきり 水神社

明治四十三年八月、梅雨前線と二つの台風が重なったことから、豪雨により河川の氾濫がおき、（当時の）東日本の一府十五県で大洪水が発生しました。霞ヶ浦でも大洪水が発生したことから、大洪水の再発を畏（おそ）れ、水の安全を願い、全国的に水神宮が祀られました。ここ豊津地区は、水の郷であることから、新田・大船津・爪木に幾つかの水神宮があります。

「よしきり」とは、スズメ目ヨシキリ科ヨシキリ属の鳥の総称で、一般的にオオシキリのことを指します。中国南部から夏鳥として飛来する渡り鳥です。「ギョギョシ、ギョギョシ」という鳴き声から、「行々子」という字をあてられてもいますが、オオヨシキリという名前は、葦（よし）を切り裂いて中にいる獲物を捕食することに由来しています。川面に生えた葦の間から聞こえる騒がしいヨシキリの鳴き声と、静かに水の安全を見守る水神宮が醸し出すコントラスト。葦が川岸にほとんど見られなくなつた今となっては、懐かしい夏の一コマとなつてしまいました。休みの日に、この豊津地区のどこに水神宮があるのか、何か所あるのか、散策してみるのも良いですね。



### 消消？ 会 解ス ト 大ウ リ スボ

今年度1回目のスポーツ健康教室として、9月30日、チェリオボウルでボウリング大会を実施しました。

昨年度に引き続き2回目の開催となる今回は、18人の参加がありました。

マイボールをきれいなフォームで操る方、力任せに投げつける方、腰を痛めないようにやんわりと投げる方などいろいろ。後半は疲れてしまった方もいましたが、2ゲームを楽しみました。

最後には全員に賞品が手渡され、「来年度ともぜひやりたい！」という声が多く聞かれました。



### いつまでもお元気で 豊津地区敬老会

九月二十三日  
場所…新仲家

これまで地域づくりにご尽力をいただいた高齢の方々感謝すると共に、高齢者福祉に対する関心と理解を深めることを目的に今年度も敬老会を開催しました。

今年度の敬老会の対象者は平成三十一年四月一日で七五歳以上になる方で、豊津地区には二五二人の方がいます。その内米寿の方が十一人、喜寿の方が十八人で、式典の中で記念品を贈呈しました。

前半の式典の後、後半は歌や踊りが披露され、出席された高齢者の方々は楽しいひと時を過ごされました。



▲今年度から新たに敬老会の対象となった方々

### やさしい介護講座①(実技)・②(講演)

七月七日、七月二十一日の二回に分けて、豊津まちづくりセンターで介護講座が行われました。

七日は実技の講座で、十九名参加でした。

内容は、車いすの操作、ベッドの上での体の動かし方や移動の方法、便利な福祉用具の使い方を学びました。

#### \*参加者の感想\*

ちよつとしたコツで介護がしやすくなることを知り、とても勉強になりました。

二十一日は講演で、十二名の参加でした。

かしま西地域包括支援センター主任介護支援専門員の石原進一さんから、介護保険制度の仕組み(サービスマイル)の手順・制度改正のポイント等を教えていただきました。

今の超高齢社会では、不可欠な知識です。介護する側も介護される側も前もって知っていることで、その立場になった時に慌てずに対処できるのではないのでしょうか。

#### \*参加者の感想\*

介護は、あまりにも現実的で身近な事だと実感しました。



### 暑かったけど 高尾山最高

#### 豊津ハイキング

うだるような暑さが続く中、一服の涼を求めて、七月十五日、高尾山(東京都八王子市)へ行ってきました。

参加した二十三人は、滝のように流れる汗を拭き、こまめに水分を取りながら、自分のペースで山頂を目指しました。残念ながら、山頂からの見晴らしは良くありませんでしたが、集合写真の素晴らしい笑顔は、皆さんの達成感を物語っていますね。お疲れ様でした。



★つぶやき★ 今年は、日本各地で最高気温の記録更新、地震や台風・大雨など自然災害が多くありました。他人事ではありません。自分も少し危機感をもって、今一度ハザードマップの確認、食料品の備えの再確認をしようと思います。来年は平成最後の年。『地平天成』に過ぎ、無事新しい元号を迎えられるといいですね。(H)



第46号

平成31年 3月 1日発行  
— 編集・発行 —  
豊津地区まちづくり委員会  
(広報記録専門部)

# とよつだより

## 第14回 とよつ かるた大会



招来の名人・クイーン目指し

一月二十七日、今年も元気な声が公民館に響き渡りました。十四回目となる正月恒例の「とよつかるた大会」です。

今回は特に豊津小学校児童の参加率が高く、全校生徒六十一人の学校から四十二人も参加がありました。幼児、一般の大人、シニアの方々の参加者を含めると五十八人になり、最近では最もにぎやかなかるた大会となりました。

かるたで競った後は、みんなで仲良く餅つきをして、お雑煮などでお腹をいっぱいにし、紅白の花餅の飾り付けをしました。  
(優勝者は二面で紹介しています。)



豊津小の児童たち



杵、臼での餅つき



大判かるた取り



シニアの皆さん



花餅飾り

かるた大会  
優勝者紹介

幼児の部  
君和田 琴ちゃん



優勝コメント  
「うれしかった！」

低学年の部  
山町 彩奈さん



優勝コメント  
「今年も勝てて良かった」

中学年の部  
木村 友香さん



優勝コメント  
「来年も一位を取りたい」

高学年の部  
君和田 茉歩さん



優勝コメント  
「一位を取れて良かった」

一般の部  
山町 未来さん



優勝コメント  
「一位を取れてうれしいです」

シニアの部  
君和田 美智子さん



優勝コメント  
「このかるた大会を生きがいとして頑張っています」

一人で五連覇

『ふれあい クリスマス会』 (CONGRAT)

十二月十四日、地区の高齢者三十一名を招いて、うらら会(豊津地区社協)による、恒例の『ふれあい クリスマス会』が開かれました。大船津保育園年長組園児のかわいらしい演技、豊津小児童の合唱、交通安全母の会の講話、語り部の会による民話の披露、その後の美味しい煮込みハンバーグの昼食と、参加された方々は大いに堪能されたようでした。  
この催しに三十九人の方々にボランティアで関わっていただき、『豊津の力』を改めて感じました。皆さん、ありがとうございました。  
(参加者の声)  
・かわいい園児のお遊戯や小学生の歌声を聴き、楽しい一日でした。  
・語り部の会の話は楽しかったです。



高齢者教室(移動教室)

十二月五日(水)  
地区の高齢者二十六名が、茨城県警察本部、タカノフーズ納豆工場・博物館を見学してきました。

県警では、ニセ電話詐欺防止の歌を歌唱体験し、その様子が茨城新聞に掲載されました。

詐欺防止の歌  
もしもしあちやんち  
やんばあちやんち  
おれだよおれだよ  
よわかるとらう振り  
お金を送って振り  
込んで詐欺です  
ダメダメ詐欺です  
ニセ電話詐欺です  
の替え歌です



# とよつまつり 賑やかに 開催



← 今年が目玉作品は『ネコバス』でした！

十一月十八日、『第二十三回とよつまつり』が開かれました。当日は好天に恵まれ、豊津地区は元より地区外からも、子どもから高齢者まで多くの方々が訪れ大盛況でした。館内には、公民館で活動するクラブの皆さんや豊津小児童の素敵な作品が展示され、称賛の目が注がれていました。また、今回から館内に移行した芸能発表では、恒例の大正琴、ギターの演奏、ダンスやコーラス



等の発表の他、初めて豊津小児童の合唱が披露され、大きな拍手が送られました。また館外には、様々な模擬店が並び、カレーやお餅などの食物や「豊津の八百屋」の新鮮な野菜が安く売られ、多くのお客さんで賑わっていました。飲食スペースでは

世代を超えて歓談しながら舌鼓を打つといった微笑ましい光景が見受けられました。会場で来訪者の目を引いた大きなオブジェ『ネコバス』。「でんえん」の皆さんが大変な努力を費やして制作しました。制作に関わった方々、本

日本の味 醤油を学びました 〓男の料理〓

十二月九日、キッコーマンもの知りしようゆ館(千葉県野田市)とアサヒビール茨城工場(守谷市)で「男の料理」移動研修を行いました。二十人の参加でしたが、しようゆ館では、ビデオ視聴や蔵・工場の見学を、ビール工場ではビデオ視聴後に工場見学、お楽しみの試飲を満喫してきました。

(参加者の声)
・あつという間の一日で、楽しかったです。
・醤油工場の見学は初めてでしたが、満足しました。
・ビール、美味しかったです!



華やかに正月を迎える準備 〓楽学セミナー〓

十二月二十七日、年末恒例の「楽学セミナー」フラワーアレンジメントとお正月を彩る花々を行いました。

先生から、正面から見た時の花材の高さなどのアドバイスを受け、参加者十人それぞれに個性的な作品を仕上げました。力作を家庭に飾り、きつと華やかなお正月になったことでしょう。

(参加者の声)
・花の配置により仕上がりが異なり、奥の深さをあらためて思いました。



かるためぐりシリーズ ②



み 神輿
か っ っ い て
雨 乞 い 天 神

爪木田園都市センター入口の右側に鎮座する「天神社」(別名・雨乞い天神)は、もともと鶴来山鹿王院と呼ばれ、下生地区にあつたものが、寺の移転とともに爪木に移つたと言われています。

昭和初期までは、日照りが続くと、若者たちは神輿を担ぎ出し、北浦で揉み、雨乞いをしたと言われています。

天神信仰は、神様と崇められた菅原道真公の神霊に対する信仰をいいます。道真公が左遷された大宰府(福岡県)で亡くなつた後、天変地異、自然災害が次々と起こつたことから、道真公の怨霊の仕業ではないかとの噂が広まり、後に水田耕作に必要な雨と水をもたらす雷神(天神)として、広く全国に崇敬されたそうです。

やがて、道真公の学問に対する偉大な実績から、「学問の神」と崇められるようになり、全国津々浦々に天神様天満宮として建立され、今に至っています。



地域支援事業「でんえん」の取組

今年度は、2020東京五輪で本市がサッカー会場となることから、訪日外国人に対する『おもてなし英会話』講座を計画しました。結局講師となる市内在住の外国人の方がなかなか見つからず、一回しか開催ができませんでしたが、五輪の機運醸成に少しは役立ったのではないかと感じています。

また、とよつまつりに於いて『ネコバス』を制作しました。この作品は大好評で、まつりの後も、市内外から親子の見学者が沢山いらっしゃいました。



ソフトバレーボール大会

十一月二十五日(日)

優勝 大船津B
準優勝 大船津A

豊津小の教員チームを含む六チームが参加、楽しく盛り上がったソフトバレー大会でした。順位は付けたものの、勝敗とは別に「健康ファースト」を身を持って体感できた一日となりました。



◆◆つばやき◆◆
今年、五月一日に新天皇即位、改元、更に茨城ゆめ国体と、色々忙しい年になります。新しい元号を迎え心機一転スタートしましょう。
(H)
昨年のとよつふれあい運動会を取材したテレビ東京の番組「世界!ニッポン行きたい人応援団」が、先日放送されました。
(M)
メキシコから来たペドロさんとアイメさんが参加したおぼけのQちゃん放映された、小麦粉で真っ白になった姿に、お茶の間では笑いあふようなことでしょう。来年はオリンピックが開催されます。世界から豊津に来たい人応援したいです。
(F)

第47号

令和元年7月1日発行  
— 編集・発行 —  
豊津地区まちづくり委員会  
(広報記録専門部)

# とよつだより



5月11日(土) 元気にリンリンとサイクリング

## 第37回 北浦一周 サイクリング

北浦の浄化を呼びかけて北浦湖畔を一周(最近では半周ですが)する毎年恒例の北浦一周サイクリングが、今年も実施されました。  
まちづくりセンターと豊津小学校子ども会育成会が共催で行う当事業は、今年で三十七回目を迎える伝統ある行事です。親子二代で参加している方々も、多数いることでしょう。  
五十年くらい前は泳ぐことができた北浦。また、そのよ

### サイクリングコースの変遷

最近の記録が分かるものを掲載しました。

平成17年度	第23回	豊津小-北浦大橋	約30km
平成18年度	第24回	豊津小-北浦大橋	約30km
平成19年度	第25回	豊津小-鉾田	約70km
平成20年度	第26回	豊津小-鉾田	約70km
平成21年度	第27回	豊津小-鹿行大橋	約50km
平成22年度	第28回	豊津小-北浦大橋	約30km
平成23年度	第29回	豊津小-北浦大橋	約30km
平成24年度	第30回	豊津小-鉾田	約70km
平成25年度	第31回	豊津小-鹿行大橋	約50km
平成26年度	第32回	豊津小-北浦大橋	約30km
平成27年度	第33回	豊津小-北浦大橋	約30km
平成28年度	第34回	豊津小-北浦大橋	約30km
平成29年度	第35回	公民館-北浦大橋	約30km
平成30年度	第36回	公民館-北浦大橋	約30km

※平成17年度は雨のためコースを短縮しました。平成23年度は東日本大震災の影響で行方、潮来側は走れませんでした。また、平成23、24年度は9月に実施しております。



和田委員長 あいさつ

豊津地区まちづくり委員会は地区の皆さんのご協力をいただき、現在までソフトボール大会等、沢山の行事を実施してまいりました。  
本年は「いきいき茨城ゆめ国体」、来年は「東京2020オリンピック・パラリンピック」が開催されます。サッカー競技会場となつています鹿嶋市には全国、更には海外からも沢山の人が訪れることが予想されます。市の西の玄関口になる豊津地区においても、おもてなしの心を持ってお客様をお迎えしようといういろいろな企画を練っておりますので、皆さんのご協力・ご参加をよろしくお願いいたします。



### サイクリングコース

- ①豊津地区公民館(開会式)
- ②西の一の鳥居(集合写真)
- ③須賀の辺り(堤防)
- ④北浦大橋
- ⑤白浜少年自然の家(昼食)
- ⑥白鳥の里(集合写真)
- ⑦豊津地区公民館(閉会式)
- ⑧バイク隊(交通安全支援)

スタート



②



③



④

⑤



ゴール



⑦



⑥



⑧



**豊津地区の未来を考えよう**

四月二十三日(二〇一九年度豊津地区まちづくり委員会総会を開催し、新年度の委員会の体制、事業計画、予算等を決定しました。

今年度の新規事業の一つとして『豊津の未来を考える』を計画しています。豊津地区は、住民の減少や、少子高齢化が他地区に先立って進んでいくことが懸念されています。地区住民として、どう対処すべきか考える場づくりをしてみたいです。

先ずは、市の出前講座等を活用した勉強会などから始めたいと考えています。具体的に決定しましたら「そよかぜ」でお知らせしますので、ぜひご参加ください。

**つらら会(豊津地区社協)**

令和もよろしくお願ひします

五月十五日支援会議を開催し、事業計画を決定しました。

今年度も、集まった方々とお茶や食事をしながら楽しい時間を過ごす「ふれあいサロン」(地区内に四箇所)、ふれあいクリスマス会、ふれあい遠足などを実施してまいります。

豊津地区の高齢化率は三十八%と鹿嶋市全体の高齢化率三十%より高いものになっています。

皆さん、事業に参加して、健康で長生きしましょう。

高齢者スポーツ大会

六月五日、まちづくりセンターで輪投げ・グラウンドゴルフ・クロッケーで腕を競い合いました。参加者は二十六人と、多くの方がスポーツを楽しんでいました♪



【競技結果】

- ★輪投げ
  - 一位 荒野 昭さん
  - 二位 小沼ナミさん
  - 三位 坂本好子さん
- ★グラウンドゴルフ
  - 一位 小沼義夫さん
  - 二位 坂本好子さん
  - 三位 秋竹千代さん
- ★クロッケー
  - 一位 大船津 B
  - 二位 大船津 A
  - 三位 新田 B

今年も熱い戦いが

五月十九日、ト伝の郷運動公園で、ソフトボール大会を開催しました。今年も、六チームが参加し、三チームごとのリーグ戦を行いました。それぞれの一位チームによる決勝戦には、新田と大船津第二区が進出し、両チームとも好守・好打の熱のこもった展開になりました。七回終了時、同点だったため、決着はジャンケンに。結果、五対四で新田チームが平成十八年度以来十三年ぶり三回目の優勝を果たしました。おめでとうございました。(写真・優勝に喜ぶ新田メンバー)



収穫がとても楽しみです

今年も、とよつキッズ「リトルファーム」が始まりました。五月二十五日、暑い日でしたが、みんなが大好きなさつまいもの苗を植えつけました。畝立て、マルチ張り、苗植え、水まきと作業がたくさんありましたが、参加した四十一人の子ども達はみんな頑張りました。収穫は、運動会の頃を予定しています。大きく育ってほしいですね。

(子ども達の感想)  
・暑かったので、つかれた。  
・くわを使うのがむずかしかった。



皆さんもご存知のとおり、今年はいきいき茨城ゆめ国体の開催年です。鹿嶋市では、『共に創り出そう鹿嶋市の火』という事業を行っており、豊津まちづくりセンターでは、この「リトルファーム」に合わせて実施しました。採光・木の摩擦の二通りの方法で『豊津の火』を採火し、その後、トーチに火を移し、子ども会毎にまちづくりセンターから一の鳥居まで、炬火リレーを行いました。  
※「炬火(きよか)」とは、オリンピックでいう「聖火」。団体の場合は、「炬火」と呼びます。

<豊津の火!>



かるためぐりシリーズ②

厄払い 村人守る 新田かぐら



新田かぐら 村人守る 厄払い

新田神楽は、鹿嶋市大字大船津の新田地区に伝わる神楽です。その昔、鹿島神宮境内にあった涼泉寺という寺が火災にあい、ここに保存されていた獅子だけが難を逃れ、その獅子と鹿島神宮に伝わる巫女舞を大船津新田地区に移したものが新田神楽の始まりだと伝えられています。

新田神楽は、一月下旬の村祈祷の際に地区の各戸を回って家内安全・五穀豊穡を祈願してまわるほか、十二年に一度行われる鹿島神宮の大祭「御船祭」に、一番先頭に立ち、悪魔祓いをして御座船を守り導く役割を担っていました。四種類の獅子舞(乱獅子、下りは、昇殿、幣の舞)と笛と太鼓そして神楽歌から成り立っています。近年継承者が少なくなり途絶えてしまいました。

新田神楽歌

天下泰平 五穀成就のその為に 舞はさせ給えよ 御神楽を 神楽と書いたる 二文字は 神たのしむと 読むと書く 神も喜ぶ事なれば 悪魔降伏 来たらじと 舞わらせ給えよ 伊勢神楽 村内安全 坪内安穩 御家益々御繁昌よとおう 納さん以て太平楽よと改まる (鹿嶋デジタル博物館から引用)

今年度の区長を紹介します 1年間よろしくお願ひします。



(前列左から)

- ・海老沢 文男 大船津第3区長
- ・仙波 一郎 大船津第1区長

(後列左から)

- ・小沼 和則 爪木区長
- ・本宮 貞夫 大船津第2区長
- ・大川 悟 大船津新田区長

子育て支援 とよつだより応援隊

五月十六日、豊津まちづくりセンターにおいて、親子がコミュニケーションを楽しむ「親子リトミック」を実施しました。

(講師 谷藤祥子 先生 長原悦子 先生)

今回は四組の親子が参加し、親子で触れ合い、心の絆を育みました。全四回開催の予定です。

次回第二回目のリトミックは、七月十八日(木)です。楽しみですね!



たくさん実ってね

小学生が田んぼ体験

五月七日、豊津小学校の五・六年生と先生、豊津地区まちづくり委員会、公民館、学校支援ボランティアの皆さんと一緒に大船津の田んぼで「田植え」をしました。

裸足で水温む田んぼに入り、土の感触を素足で感じながら、早苗をみんなで列になって間隔を見ながら、一生懸命植えてくれました。その姿に、私たちも心打たれました。

そして、月日が経ち、秋の収穫の季節を迎える頃、自分が植えた苗が大きくなって、黄金色に実った稲穂をながめながら、稲刈りをするのも楽しみです。



やがて将来、子どもたちが大きくなって、美しい田園風景をながめた時、この裸足になつての田植え体験や稲刈りなど思い出していただけたら幸いです。

(文・圃場協力者 高安広子さん) ★児童感想★ はじめて田んぼに入りました。足が思うように動かなかつたけど、楽しかったです。

(五年 松本小幸さん) 田んぼに入ったら泥が温かかったです。頑張つて植えました。稲刈りが楽しみです。(六年 宮崎湧さん)



きれいな豊津を目指し

豊津地区では、市主催の市内環境美化運動(一斉清掃)とは別に、豊津独自で「豊津クリーン」を行っています。一回目は、五月十二日に行い、各地区で回収されたゴミはまちづくりセンターに集められました。道路沿いの缶やペットボトルなどのポイ捨ては昔より減ってきているものの、今回も四十二袋にもなりました。

次回は、八月四日(日)に実施予定です。多くの方のご参加・ご協力をお願いします。



(上) 集められたゴミ、(中) 大船津第三区の様子、(下) 大船津第一区の様子

つづやき

五月一日に元号が『平成』から『令和』に変わりましたが、「とよつだより」は平成からの発行番号を引き続いて使います。

豊津地区まちづくり委員会が発足し、地区主体のまちづくりセンターとなった平成十六年六月一日に第一号を発行して以来、委員会活動を報告し続け、来年度には五十号を数えます。読み易い紙面づくりに今後も努めてまいりますので、引き続きのご愛読よろしくお願ひいたします。(広報記録専門部員一同)



第 4 8 号

令和元年11月15日発行  
— 編集・発行 —  
豊津地区まちづくり委員会  
(広報記録専門部)

# とよつだより

## 運動会 令和もつなぐよ 地域の輪

豊津小6年 立野美紅さんの作品

### 豊津ふれあい運動会を終えて

大会長  
(豊津小学校長) 平賀 康意



14回目を数える豊津ふれあい運動会が、多数のご来賓を迎え、盛大に挙行できましたこと、ご協力いただいた保護者、地域の皆様に感謝申し上げます。

今回は、台風の影響で順延を余儀なくされましたが、多くの方に支えられ、本校児童も地域の方々も楽しく活動することができました。午後からの種目は降雨により体育館での開催となり、一部種目ができませんでした。この豊津地区の運動会が、今後も学校と地域のふれあいの場として、末永く続いていく素晴らしい行事であることを再確認することができました。

### 元気をもらえて、皆さんに感謝！

副大会長  
(まちづくり委員長) 和田 勉



待ちに待った豊津ふれあい運動会は、台風19号の影響で実施が危ぶまれましたが、順延という形で実施することができました。

当日は、午後から雨の可能性があるにもかかわらず、校庭を埋め尽くす多くの参加をいただきました。競技の中で子どもたちは、練習の成果を一生懸命披露してくれました。私は、子どもたちからたくさんの元気をもらいました。

開催に向けて段取りをしていただいた役員、参加された皆様に感謝申し上げます。

豊津地区の一大イベントである『豊津ふれあい運動会』は、台風十九号の影響により、当初予定から二日順延して十月十四日に開催しました。いつも通り、午前中は小学生の種目を中心に、午後は地域のふれあいの場として実施する予定でしたが、お昼前に降り出した雨が強かったため、午前プログラムの終了した時点で、体育館へ会場を変更。体育館の中でできる種目を選び、子どもたちや地域の方たちと笑顔でふれあう時間を過ごしました。

なお、注目の区対抗は、最終種目のリレーが不成立でしたが、役員の協議により、玉入れと綱引き2種目の点数で決定し、新田区が優勝となりました。

### チーム一丸となって頑張りました！

(写真右)  
玉入れの部 優勝  
爪木Bチーム ⇨

(写真下)  
綱引きの部 優勝  
新田チーム ↓



# 運動会フレイバック



▲今年のクイズチャンピオンは、豊津小6年の浅間菜々美さんでした。おめでとうございます。



▲空に届くような元気いっぱいの開会のことば。良くできました！パチパチ



▲いざ勝負！豊津の秋の陣。今年も白熱した戦いでした。  
▼組体操2019。かなり練習したのでしょうね。見事な出来栄でした。



各チーム、この時はまだ自信満々。堂々たる入場行進です。



◎お腹を抱えて笑ってしまうシーン、思わずホッコリするようなシーン、頑張りに拍手したくなるシーン等々、いろいろありました。多くの方の参加、ありがとうございました。



# とよつだより

## 田んぼ体験

☆九月三日(火) 稲刈り☆

五月に豊津小の児童たちが自分たちで植えた水稲が実り、稲刈りを体験しました。参加者は二十九人(その内五・六年生が十九人、地域協力者が四人)でした。始めに、協力者の前館長・高安さんから、稲刈りについての諸注意がありました。子ども達は、注意を守りながら、楽しそうに稲を刈り取り、昔ながらのおだかけをしました。

おだに掛けられた黄金色に実った稲穂は、きつと美味しいお米になることでしょう。

慣れない手作業での稲刈りは大変だったでしょうが、日本人の主食お米のありがたさについて、実感できた一日になりました。

※おだかけ  
稲などの穀物や野菜を刈り取った後に束ねて天日に干せるよう、木材や竹などで柱を作り、横木を何本か掛けて作ったもの。茨城や千葉ではおだと呼ばれている。



## ホテル学習会・見学会

今年もきれいなホテルの光を求め、七月六日(土)の夜、とよつキッズが流れ川を散策しました。

驚いたことに、去年より沢山のホテルを見ることもできました。ホテルは飛んで手の上にも乗ってくれ、みんな歓声をあげていました。

豊津の自然環境が改善されているのが実感でき、参加者は、貴重な体験ができました。(参加人数は八十八人と大勢でした!)

## 移動教室 七月二十四日

JAXA筑波宇宙センターと国土地理院に行ってきました。

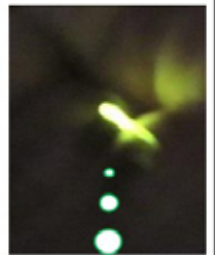
JAXAの宇宙センターでは実物大模型の「はやぶさ」や国際宇宙ステーションを見学、国土地理院では地図記号のクイズラリーを楽しみ、子ども達は興味津々に宇宙体験をしていました。(参加者 子ども十三人・大人九人)

## リトルファーム(収穫祭)十月二十日(日)

初夏に、公民館の駐車場脇の畑に植えたさつま芋が立派に育ち、収穫祭を行いました。

秋も深まり、めっきり涼しい季節となりましたが、収穫祭には、豊津小の児童や保護者が多数出席し、賑やかなものとなりました。掘り起こしたさつま芋は、さつま芋ごはんや、さつま芋汁に料理され、参加者のお腹に納まりました。

皆さん、美味しい料理を堪能し、幸せなひと時を過ごしました。(参加人数は六十一人)



かるためぐりシリーズ②  
夫婦の守護神 比咩宮  
開運を願う爪木の 二十三夜尊



め 夫婦の守護神 比咩宮



を 開運を願う爪木の二十三夜尊

爪木の熊野神社の脇に鎮座する比咩宮の祭神・菊理比咩神(くくりひめのかみ)は、熊野神社の祭神・伊邪那美神(いざなみのかみ)と、夫神の伊邪那岐神(いざなぎのかみ)との調和助言をした神として崇められ、『縁結びの神』とされています。一方、二十三夜尊は爪木北側の森の中にあり、水神宮の鳥居をくぐり、正面右に祀られている。二十三夜尊の神様は月読みの神で、仏様は勢至(せいし)菩薩。子育てや子授けの神として崇められる。勢至菩薩は、阿弥陀如来、観音菩薩と一緒に阿弥陀三尊として祀られることが多く、二十三夜に勢至菩薩を拝めば、迷いや苦しみから救われるとされる。

晩婚化・少子化の現代、縁結びや子授けにご縁がある爪木の社に多くの若者が参詣し、ご利益を受けてほしいですね。



▲比咩宮(左)と二十三夜尊(右)

### 豊津ハイキング

九月十五日(日)  
参加者二十一人

昨年引き続き、今年も高尾山に登りました。今まで何度か高尾山を登山していますが、それまでのコースはケーブルカーを使って登り、歩きで下山するというものでした。しかし、今回は歩いて登り、帰りをケーブルカーで下りてくるという初の逆コース。登山ですから基本は登るものなのでしょうが、登り易いと言われていた高尾山とはいえ、運動不足の身には結構きつかったです。

でも全員山頂まで登り切り、汗にまみれながらも、満面の笑みを浮かべていました。



### 敬老会

9月14日(土)  
於：新仲家



令和初の敬老会が開催されました。大正・昭和・平成・令和の四元号を経験された十三人を含む、七十五歳以上のご高齢者二百五十三人が今年度敬老会の対象者です。

新対象者は四人で、その他節目の年を迎えた方々は、喜寿の方が十一人、米寿の方が十人、白寿の方が一人いらっしゃいました。皆さん、おめでとございます。

### 豊津の未来を考える

第1回は『福祉』について

今年度の新規事業として企画した「豊津の未来を考える」。第一回目の集まりを、七月三十一日(水)に開きました。

市平均よりも少子高齢化が進んでいる豊津地区において、喫緊の課題である『福祉』を最初のテーマとして取り上げました。

地区社協(うらら会)と共同で開催し、市介護長寿課、市社会福祉協議会の職員にも協力をいただき、共助(地域での助け合い)について考えました。

市介護長寿課の岡本さんの指導の下、参加者が四班に分かれ、それぞれの班をひとつの小さな村に見立て、その村の中でお互いにどんな助け合いができるか、ゲーム形式でシミュレーションしました。

自分が困っていること、助けてもらいたい事は何か。逆に他人の困っている事で助けられるものはあるのか。短い時間ではありましたが、村の中で共助の関係が生まれることを体験しました。これを実際の地域でも実践できるようにするといいですね。

次回は、『稲作』について年末頃に開催する予定です。



### オリンピック開催1年前イベント

2019 KASHIMA  
文化交流フェスティバル

東京2020オリンピック・パラリンピックの開催まであと一年。みんなの力を合わせてオリンピックを成功させようと、七月二十八日(日)、まちづくり市民センターで「文化交流フェスティバル」が開催されました。

豊津まちづくり委員会は、オリンピックを楽しむ市民の会の一員として参加。ブラインドサッカーや車椅子バスケットの体験と、豊津地区魅力写真パンフレットプレゼントのコーナーを受け持ちました。

朝のうちは雨、止んだ後は蒸し暑い中、冷房の効かない体育館での実施でしたが、多くの方が参加してくれました。

みんな  
でオリ  
ンピックを  
盛り上げ  
ましょう



### 「とよつだより」を書いてみませんか?

いつも「とよつだより」をご愛読下さり、ありがとうございます。

この広報紙は、豊津まちづくり委員会広報記録部の四名で作成しています。仕事をしながら、空いた時間に文書や写真をワードに打ち込んでいます。ワードを使っていますが、普通に文書作成ができる人なら誰でもできます。

読むだけでは満足できなくて、書いてみたいという方、大々募集中です。希望する方は、豊津まちづくりセンター黒須主事までご連絡下さい。

# とよつだより

第 4 9 号

令和 2 年 3 月 1 日 発行  
— 編集・発行 —  
豊津地区まちづくり委員会  
(広報記録専門部)

新 春

第十五回

とよつかるた大会

令和二年一月二十六日、令和初のとよつかるた大会が開催されました。

幼児の部三人、小学生低学年の部四人、中学年の部十二人、高学年の部十人、一般の部九人、シニアの部五人の計四十三人が参加し、賑やかにかるた取りと餅つきを楽しみました。

かるた取りでは、低学年の部と一般の部で一位が同枚数になり優勝決定戦が行われるなど、白熱した大会となりました。

餅つきは、最近家庭では経験できない杵と臼で行いました。子どもたちは一生懸命に杵を振り下ろし、だんだんとお餅になっていく様子を興味深げに見入っていました。

参加していただいた皆さん、ありがとうございました。今年の他の行事にも引き続きご参加よろしくお願ひします。最後になりますが、毎回事業を裏で支えている皆さん、今回も大変お疲れ様でした。



餅つき



準備



かるた取り



開会式



花餅飾り

# 優勝者紹介

かるた大会

幼児の部



山口 奏空ちゃん  
(そら)

がんばりました!



一般の部



山町 浩信 さん

この日のために1年間練習してきました。明日から来年に向け練習します。

シニアの部



君和田 美智子さん

今年も風邪をひかずに参加できて、うれしかったです。

小学生部門

低学年の部



君和田 琴ちゃん  
(こと)

うれしいです。



中学年の部



山町 彩奈さん  
(さな)

今年も勝てて良かったです。



高学年の部



君和田 栞音さん  
(りお)

優勝できると思っていなかったの、うれしいです。



## うらら会(地区社協)クリスマス会

二月十三日開催 (六十五名参加)

今年も楽しい『クリスマス会』が開催されました。午前中はウエルポート鹿嶋の郷の職員から講義を受け、続いて大船津保育園児の可愛いお遊戯が披露されました。一生懸命に踊る園児たちに参加者は皆とても癒されました。♪

そして、豪華で美味しいお昼の後、豊津小学校児童から合唱のプレゼント。子どもたちの美声に聞きほれていました。最後は、みんな一緒にゲームをして楽しみました。

イベントの多い、とても楽しい一日を過ごした素敵なクリスマス会になりました。今後も「うらら会」の企画が楽しみです。



## 今年も健康のために歩こう!

今年度の新春レッツウォーキングは、一月十一日に「橋めぐり」をテーマとして行いました。【参加者十名】

今回の「橋めぐり」では、(左側写真上から順に) 神野橋・御園生(みそのお)橋・春内(はるうち)橋・下塙橋・宮中大橋の五つを渡りましたが、皆さん、どこにあるかご存じですか? 今回、市スポーツ推進委員連絡協議会の大会会長が参加して下さい、橋や道路などの説明があり、参加者からは「普段何気なく通っているが、今度からは意識して通るようにします」との声も聞かれました。



# 第24回 とよつまつり

## 晴天に恵まれて 賑やかに開催

十一月十七日、第二十四回を数える「とよつまつり」を開催しました。会議室や通路には、各種プロ顔負けのような力作や子どもたちの微笑ましい作品が所狭しと展示され、素晴らしい作品に感嘆の声が聞かれました。また、図書コーナーでは午後から「芸能発表会」が行われ、多くの拍手が響き渡っていました。

館外では、模擬店やフリーマーケットなどが開かれ、野菜や花、食べ物が入ったビニール袋を両手にぶら下げる姿や目当ての食べ物を購入して美味しそうに頬張る姿、お友達と話し込む姿などが多く見られました。また、クロックエー場では紙芝居も開かれ、お天気も良かったことから、多くの子どもたちが楽しそうにお話を聞いていました。

最後は、恒例のお楽しみ抽選会。一つひとつ当選番号が読み上げられるとともに、喜びの声と大きなため息が館内に響き渡り、今年度の「とよつまつり」は幕を閉じました。

実行委員として参加された皆さん、そして協力をいただいた皆さん、大変お疲れ様でした。また、遊びに来てくれた皆さん、ありがとうございます。

なお、今回の「とよつまつり」の本部テントに台風被災地への義援金の箱を設置したところ、多くの方に温かいご賛同をいただきました。後日、売上金の一部も合わせ、茨城新聞社鹿嶋支社を通じて、被災された皆様へお送りしましたのでご報告いたします。  
(そよかぜ第十六号で既報)



▲今年のわらアートは『ドラえもん』。その下は一昨年の『トトロ』と昨年の『ネコバス』。わらアートクラブの皆さん、いつも楽しませてくれてありがとうございます。

【写真説明】①賑やかな会場風景②今年も好評だった「豊津の八百屋」③輪投げに夢中④楽しかった紙芝居⑤今年も活躍のお餅スタースターズ⑥力作が勢揃いの作品展⑦美しい音色の大正琴⑧豊津小児童の合唱⑨三味線に大きな拍手⑩懐かしのメロデー⑪軽やかなダンス



地域点検・防災避難訓練

【避難訓練】 十二月十九日※児童と地域住民十名参加 洪水災害を想定し、豊津小学校と地域が連携しての避難訓練を計画しましたが、あいにくの雨で鹿野中への移動訓練は中止（一月十六日に学校だけで実施）となり、小学校で霞ヶ浦工事事務所長の講演を聞きました。

豊津地区も過去には、大きな洪水被害を受けたことがあります。現在は強固な堤防ができたおかげでそのような心配がなくなりましたが、今まで経験したことのない自然災害が続く昨今、どのようなことが起きるかわかりません。日頃から災害についての備えを万全にし、避難経路も実際に歩いて確認し、自分の命は自分で守る行動を心がけてください。

【地域点検】 十月三十日

豊津小学校の下校時に、児童と一緒に歩いて地域の危険箇所や災害時の避難経路について点検しました。

地区を歩いてみて、廃墟化した住宅や倒れそうで危険なブロック塀と樹木に気がつきました。今回の点検で見つけた危険箇所については、改善を要望していきます。



▲ 神楽のおぼの神で (提供：昭和50年)

第16号(H20.3.1)から続いた「かるためぐりシリーズ」は今回で終了します。

鹿島町史などによると、新田では、一月二十四日に若衆が笛、太鼓のお囃子をしなから、雌雄の神楽を舞い、村内を戸別訪問して家内安全のお札を配ったとある。一種の「村祈禱」だ。村祈禱は、村人の一年間の無病息災を願って念仏をあげる新年祈禱の行事であり、老女たちが大数珠を持って集落内の各戸を訪問して念仏をあげたり、お寺に集まって太鼓を中心に念仏を唱えながら大数珠を順送りしたりと、地区により内容が異なる。新田地区でも、かつては絵札にあるような大数珠を使つての村祈禱が行われていたと思われる。



ひ 煩悩沈めん 老婆たち



わ 若衆が 各戸に俵せ 村祈禱

かるためぐりシリーズ②

わ 若衆が 各戸に俵せ 村祈禱

ひ 百八つ 煩悩沈めん 老婆たち

「豊津の未来」を真剣に考えました

十二月十三日、今年度二回目のテーマは、豊津ならではの『農業×田んぼ』でした。

市役所と市農業公社から講師を招き、豊津地区の稲作について、農地中間管理事業についてのお話を伺い、現状の課題や要望、個人的な考えなど、ざっくばらんに意見や感想の交換をしました。

《主な声》

- ・先祖からの土地を荒らさないように、これからも維持(草刈・水管理)していきたい。
- ・若手を育てるため、子どもに教えている。
- ・農地中間管理制度はあるが、条件の悪いところは借りてもらえない。
- ・湖岸南部(土地改良区)の区画は奥行きが五〇メートルのため、借りる人が二の足を踏む。
- ・暗渠排水が効かないので、米以外作れない。
- ・湖岸南部の用水を、蛇口にしてほしい。

農地の条件が悪い。農地を荒らしたくないが、維持管理に費用と手間がかかる。お米が安くて困る。など、農家を取り巻く環境も厳しいものがあります。豊津のイメージである、美しい田園風景をずっと維持していきたいですね。

◆つばやき◆

昨年五月に年号が「平成」から「令和」に変わり、今年には西暦も二〇二〇年と次のデイクイッド(十年間)に入りました。何か新しいことが起こる、そんな予感を感じさせてくれます。

特に今年にはオリンピックイヤー。しかも地元カシマサッカースタジアムが男女サッカー会場となり、五十六年前と比べ、すごく身近にオリンピックを感じます。(もつとも当時私はまだそれがわかる年齢ではありませんでしたが)

鹿嶋の西の玄関口「豊津」でも、何かレガシー(遺産・後に残るもの)を残したいですね。(H)



第50号

令和2年7月1日 発行  
— 編集・発行 —  
豊津地区まちづくり委員会  
(情報発信専門部)

# とよつだより

今年度も活動開始しました  
とよつだよりしくお願ひします

四月十六日、豊津地区まちづくり委員会の令和二年度総会を開催しました。

例年ですと、新しい区長・副区長や町代(常会長)、地域実践家など多くの方々が集まり、前年度の事業報告や決算報告、今年度の事業計画(案)と予算(案)などを審議するところですが、密室・密集・密接の『三密』を回避するため、緊急特例的に前年度の役員で実施しました。

その結果、すべての報告・議案を承認、可決していただきました。また、専門部の名称変更も議案としてあがり、「スポーツ健康づくり専門部」が「健康づくり専門部」に、「広報記録専門部」が「情報発信専門部」に変更されました。

総会開催時点で、具体的な事業の内容・日程が全く決まらない状況でしたが、一日も早く平時に戻り、これまでのようにみんなで楽しく豊津地区の活性化が図られることを願ってやみません。

どうぞ、今年度も地域活動にご理解ご協力をお願いします。



## 新型コロナウイルスに負けるな

豊津地区まちづくり委員会委員長 和田 勉

皆さん、こんにちは。お変わりありませんか?新型コロナウイルス感染症予防のため、今年度のまちづくり委員会事業も大幅な変更を余儀なくされています。

そのような中、大阪府知事が七月からワクチンの治験を行うと発表。国もワクチン開発、備蓄、接種を進めていくとの報道がされました。私たちは、根本的解決をするには『元を絶たなきや駄目』と教えられました。これが、その挑戦、そして新型コロナウイルスとの共生の始まりになると期待しています。

私たち一人ひとりの行動自粛で、新型コロナウイルスの感染まん延を抑えてきました。コロナ禍が収束し、一日も早く皆さんと地域活動が再開できることを願っています。そして、来年にはここ鹿嶋で東京オリンピックのサッカー観戦者を、温かくお迎えしましょう。

## 今年度もよろしくお願ひします

豊津まちづくりセンター長 沢畑 好一

日頃より公民館及びまちづくり事業にご協力いただきありがとうございます。今年度も、地域の活性化を目標に掲げ、各事業が有意義に進められるように、各専門部と協力して新たな事業を計画し、皆さんのサポートに努めてまいります。なお、3月末で退職した藤城主事に代わり、6月から新たに石田主事が加わりましたので、これまで同様、どうぞよろしくお願ひします。

新型コロナウイルス感染症予防の観点から、しばらくの間はこれまで通りに施設利用をおこなうことができませんが、おかけすることになりませんが、何卒ご理解ご協力をお願いします。



▲ 本年度の職員(左から)  
(後) 笹本・遠藤・大川  
(前) 石田・沢畑・黒須

令和2年度 まちづくり委員会事業

<b>&lt; 委員会 &gt;</b>	<b>&lt; 地域環境専門部 &gt;</b>
★役員会・・・随時	* 豊津クリーン・・・2回(5月・8月)
★環境美化運動(花壇整備)・・・6月13日(土)	* 地域安全点検・・・2回
★とよつまつり・・・11月8日(日)	* 環境石けん作り・・・6月13日(土)
★豊津の未来を考える・・・3回程度	<b>&lt; 健康づくり専門部 &gt;</b>
★防災避難訓練・・・豊津小と合同訓練	○北浦一周サイクリング(育成会と共催)・・・未定
★コミュニティプラン作り	○豊津ハイキング・・・未定
<b>&lt; 文化福祉専門部 &gt;</b>	○高齢者スポーツ大会・・・6月23日(火)
◇とよつキッズ(リトルファーム収穫祭)・・・ スイカの収穫・イベント 8月予定	○ソフトボール大会・・・7月24日(金・祝) ト伝の郷運動公園
◇とよつキッズ(ホテル見学)・・・7月(各自)	○ソフトバレーボール大会・・・未定
◇とよつキッズ(移動教室)・・・8月12日予定	○高齢者教室(健康講座・移動教室)・・・未定
◇たんぼ体験・・・稲刈り(豊津小と共催)	○レッツウォーキング・・・未定
◇とよつかるた大会・・・1月	○健康教室・・・未定
◇楽学セミナー・・・未定	○豊津ふれあい運動会・・・10月
◇豊津デジカメ・・・年数回の写真展	<b>&lt; 情報発信専門部 &gt;</b>
◇男の料理教室・・・移動研修など	♪「とよつだより」の発行・・・年3回
	♪かわら版「そよかぜ」の発行・・・随時

\*上記の事業は、年度当初の総会資料から転記したものです。 \*日程等は6月13日現在の判断  
 \*新型コロナウイルス感染症の影響により、市の事業や学校の行事予定が例年と変わっています。その関連で、今後もまちづくり委員会事業の変更もありえますので、ご了承ください。  
 \*事業の実施が決定しましたら、かわら版「そよかぜ」で、随時、案内をしていきます。その際は多くの方のご参加をお願いします!

今年度の区長をご紹介します

(写真後列・左から)

- 大船津第1区 濱田善久さん
- 大船津第3区 坂本次雄さん
- 大船津新田区 宮崎比呂志さん

(写真前列・左から)

- 爪木区 小沼信夫さん
- 大船津第2区 青野重寿さん



皆さん、1年間どうぞよろしくお願ひします。

平成十六年度に第一号を発行してから、今号が一区切りとなる第五〇号となります。記念コラムを予定していましたが、全国的に新型コロナウイルス感染症拡大予防の徹底がされ、各種事業が実施できなかつたことから、通常の半分の紙面とし、コラムも割愛しました。コロナ禍が収束し事業再開となれば、次号から更に紙面を充実させて皆さんにお伝えします。ご期待ください。

第五〇号発行

今年度二つの専門部の名称が変更になりました。これまでの「スポーツ健康づくり専門部」は、地域の高齢化に伴い、スポーツ性から健康を主眼とした健康づくりに移行している現状から、「健康づくり専門部」へ。また「広報記録専門部」は、地域の広報紙「とよつだより」以外に、フェイスブックやツイッタ―等インターネットを活用した電子媒体でも情報発信を行っていること、より実態に近いイメージのある「情報発信専門部」へそれぞれ名称を変更しました。今後ますます内容を充実するための名称変更です。皆さん引き続きよろしくお願ひします。

令和二年度から  
健康づくり・  
情報発信専門部へ

第51号

令和2年11月15日発行  
— 編集・発行 —  
豊津地区まちづくり委員会  
(情報発信専門部)

# とよつだより

▼まだ出発したばかりなので、みんな余裕の笑顔です！



みんなで元気にサイクリング  
秋の北浦もさわやかでした！

10/24

(参加者の声)  
★初めて参加したけど、楽しかった。  
▼二年生・今泉和士(かずし)くん  
★腰が痛かった。  
▼五年生・海老沢奏来(そら)くん  
★みんなまで走って楽しかったです。  
▼三年生・君和田蓮(れん)くん  
★皆さんの協力で安全に実施でき、ありがとうございました。楽しかったので、ぜひ次回も参加したいです。  
▼育成会役員・今泉知香さん



▲頑張って隊列を引っ張りました



▲今年も参上！とよつバイク隊  
(右端は校長先生です)



▲昼食場所として行方市の「白浜ウォーキングセンター」をお借りしました。快くお貸しいただきありがとうございました。

新型コロナウイルスの感染状況も落ちているということから、例年五月に実施している「北浦一周サイクリング」(共催・豊津子ども会育成会)を、十月二十四日に実施しました。  
待ちに待っていたサイクリングということで、参加した十九人の子どもたちは大喜び。元気良くペダルを踏み続け、約四十キロのコースを仲良く完走しました。(小学校の先生方の参加も含め、総参加者五十人)霞ヶ浦(北浦)の水質浄化を目的に実施しているこの事業も、今回で数えること、三十八回。ぜひ絶やすことなく、次の代にもつなげていくてほしいと思います。  
運動不足の解消にも最適なサイクリング、来年度も多くの参加をお待ちしています。(一般の方、大歓迎です)



▲北浦大橋を目指して順調に。気分爽快！  
▼この標語を、みんな忘れないでね！



▲(上) 絶好のサイクリング日和で気分はアゲアゲ？  
(下) 北浦大橋を無事通過！

# 創ろう！ 豊津の明るい未来！！

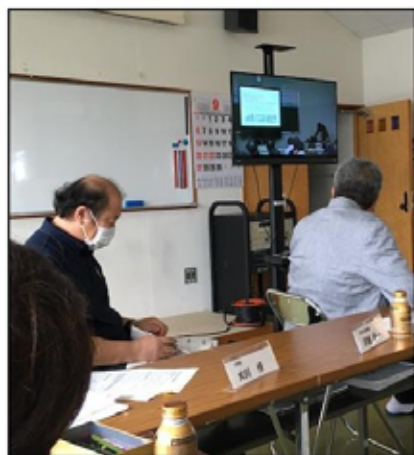
## 地域コミュニティプラン作成へ

昨年度、「豊津の未来を考える」と題したまちづくり事業を行い、福祉と農業について地域の皆さんと考えました。

また、市全体でも中央公民館主催で、市まちづくり研修会と3回の市まちづくり講座として、常磐大学総合政策学部の砂金祐年(いさごさちとし)教授と佐々木一如(ささき かずゆき)准教授を招き、コミュニティプランの策定について研修や実習を行いました。これを受け、今年度は豊津地区を始めとする市内十のまちづくり委員会単位で、コミュニティプランを作成しています。

『コミュニティプラン』とは、地域が主体となった地域コミュニティ活動の推進に向けた指針として、地域の将来像や課題、その解決に向けた具体的な活動などをまとめた計画です。作成する意義として、「地域の課題共有」「国・自治体で対応できないもので地域が協力してできること、地域独自でできることを振り分ける」「プラン作成過程におけるソーシャルキャピタル(地域の絆)の形成」などが挙げられます。

豊津地区は、ご承知のとおり市内まちづくり委員会の区域では最小の地区です。市が作成する計画は市全体が対象となるため、豊津地区があまり該当しないこともあり、独自の計画が必要となってきます。



### 第一回会議内容

九月二十七日

最初に事務局から、地域コミュニティプラン作成事業についての概要説明がありました。

続いて、昨年度まちづくり講座で常磐大学砂金教授が行った講演を撮影したDVDを視聴しました。内容は、コミュニティプラン策定の意義について。

この後、コミュニティプランの作成について、委員間で意見交換を行いました。その結果、既に昨年度の研修を受けた方々が一定の課題を整理し、地区の将来像、それを達成するための活動方針についてまとめていることから、それを基にしてコミュニティプランを作成していくことが確認されました。

十月十日までに、各団体でこの内容を基に課題等を整理し、事務局へ提出してまいります。

### 今後の予定

- ・作成期間 令和二年度末まで(プランの事業は以降も継続実施)
- ・まちづくり講座 リモート形式での常磐大学先生方との事業調整  
十月二十五日 十二月六日
- ・お示しできる内容は随時公表いたします。

No.	氏名	所属団体等
1	和田 勉	まちづくり委員会
2	海老沢 良政	まちづくり委員会
3	宮崎 比呂志	大船津新田区長
4	濱田 善久	大船津第一区長
5	青野 重寿	大船津第二区長
6	坂本 次雄	大船津第三区長
7	小沼 信夫	爪木区長
8	高安 広子	うらら会会長 (地区社協)
9	内田 博道	おおふなつ自警団
10	山町 浩信	豊津小PTA会長
11	伊原 健市	消防団
12	藤枝 英夫	市役所協力職員
13	桐生 進一	市役所協力職員
14	君和田 浩幸	市役所協力職員
15	沢畑 好一	公民館長
リーダー・・・和田 勉 サブリーダー・・・海老沢 良政 ※ご提案等ありましたら、上記団体代表者か事務局(豊津まちづくりセンター 大川・黒須)までお願いします。		

## 参考資料

## 『地域コミュニティに関するアンケート調査』結果について

中央公民館が、コミュニティに関する意識等の調査を今年7月23日から8月15日にかけて、20歳以上の市内在住者（無作為抽出した3,000人）に対し行った結果の豊津地区分（抜粋）です。（回答率38.5%）

- 1 あなたは、お住いの地域（小学校区）に愛着がありますか。

愛着がある	どちらかという と愛着がある	どちらかという と愛着はない	愛着はない	わからない	無回答
24	13	6	1	3	5

- 2 あなたが住む地域（小学校区）では、地域活動が活発に行われていると思いますか？（複数回答）

	活発に行わ れている	どちらかという と活発に行わ れている	どちらかという と 活発ではない	活発では ない	わから ない
学習の機会づくり	8	17	3	1	19
親睦・交流事業	14	19	5	1	10
お祭り・伝統事業	19	21	4	1	6
防災	6	18	9	2	14
防犯・交通安全	9	23	4	3	10
高齢者福祉	7	21	6	1	14
子育て支援	3	13	7	2	20
青少年の育成	5	9	11	2	20
環境保全・美化	11	26	3	2	8
健康づくり	7	21	5	1	15
スポーツ活動	8	17	7	1	15

- 3 地域住民が主体となって取り組む地域の活動において、もっとも優先して取り組むべきことは、どんなことだと思いますか？（3つまで回答可）

学習の 機会づ くり	親睦・ 交流事 業	お祭 り・伝 統事業	防 災	防犯・ 交通安 全	高齢 者福 祉	子育 て支 援	青少 年の 育成	環境保 全・美 化	健康 づく り	スポ ーツ 活動
6	14	8	18	20	16	11	4	11	15	4

- 4 あなたの世帯は、自治会に加入していますか？

加入している	加入していない	無回答
38	12	2

- 5 今後、地域の住民が安心して、楽しく地域で暮らしていくために、地域で活動する自治会をはじめとする各種団体が果たす役割は、どのように変化すると思いますか？

大きくなる	どちらかという と大きくなる	どちらかという と小さくなる	小さくなる	わからない	無回答
2	9	19	1	17	4

- 6 お住いの地域をより住みやすくするために、地域活動は大切だと思いますか？

思 う	思わない	どちらでもない	無回答
40	1	8	3

- 7 地域活動に参加しやすくするために必要なことはどのようなことだと思いますか？

地域の情報を提供、共有すること	27
活動の曜日や時間を参加しやすいように設定する	26
インターネット上での参加など、多様な参加方法を用意する	10
祭りや行事の実施と参加の働きかけ	9
活動の内容がマンネリ化しないようにする	10
いったん加入するとしがらみでなかなかやめられないなど、閉鎖的な雰囲気をなくす	18
成果や貢献が具体的に見える活動をする	7
地域内のいろいろな住民組織が連携して一緒に取り組める活動をする	9
参加した人が何らかのメリットを得られるようにする	9
多くの住民が関わることのできるテーマに取り組む	15

★ 結果 ★

- ◎グラウンドゴルフの部
  - 優勝 黒須はるさん
  - 準優勝 高安茂さん
  - 3位 秋竹千代さん
- ◎輪投げの部
  - 優勝 遠藤道子さん
  - 準優勝 君和田つるさん
  - 3位 小沼義夫さん
- ◎クロッケーの部
  - 優勝 大船津Bチーム
  - 準優勝 大船津Aチーム
  - 3位 新田Aチーム

**高齢者スポーツ大会**

予定していた六月二十五日からしばらく天候に恵まれず、ようやく七月二十八日に実施することができました。今回は、コロナ禍による外出制限などにより練習量が減っていたとは思いますが、これまで鍛えてきた腕を存分に披露するとともに、三密を意識しながら交流を深めていました。



▲ (左から) グラウンドゴルフ・輪投げ・クロッケー

楽しかった収穫祭

とよつキッズ

新型コロナの感染状況が少し落ち着いた8月8日、リトルファームで育ったスイカを味わい、またスイカ割りをして楽しみました。また、ファームの一部に植えた百日草の摘み取りもし、お土産として持ち帰りました。育成会役員のお父さん特製のカキ氷も大好評でした。おいしかったですね。



霞ヶ浦の水質と浄化について学びました

8月12日、とよつキッズの移動教室を実施しました。今回のテーマは、「湖上体験スクール」。遊覧船に乗って、霞ヶ浦の水質検査を、茨城県霞ヶ浦環境科学センターでは水質浄化の勉強をしました。私たちの大事な水源である霞ヶ浦(北浦)の大切さについて、改めて学びました。



ソフトボール大会は大船津第二区がV

コロナ禍による会場規制が解かれた七月二十四日、恒例のソフトボール大会を実施しました。ステイホーム期間が長くなり、運動不足気味の参加者が多かったようですが、みんな楽しくプレイしました。

決勝は、平均年齢が若干若かった(?)大船津第二区が猛攻を重ね、大船津第一区を下し見事優勝しました。

【写真】左上・入場口で厳しい?検温、左下・最優秀選手賞の久保原茂男さん(大船津第二区)右・優勝した大船津第二区のメンバー



SNSも読んでください

豊津まちづくり委員会活動の情報は、この広報紙以外にSNSでも発信していることは前号でもお知らせしました。フェイスブックやツイッターの他、まちづくり市民センターのホームページにも掲載されています。まだご覧になっていない方もいるかと思いますが、今号からアクセスしやすい様にQRコードを載せました。速報性の高いSNSもどうぞご覧ください。

鹿嶋市郷土カルタから

今年7月鹿嶋市郷土かるた制作実行委員会が新しいカルタを作成しました。全四十五枚の中から豊津に関係するものを紹介します。



- ④ 鹿行を結ぶ 神宮橋
- ⑤ 渡御の先陣務めていくは新田かぐら
- ⑥ 午年は 式年大祭 御船祭
- ⑦ 夕日で 真赤に染まる 北浦湖畔

◆ つぶやき ◆

新型コロナウイルスは、まだまだ収束の兆しが見えません。感染症拡大防止の為に、まちづくり委員会も大幅な見直しをしております。暫くはWithコロナの生活が続くでしょう。かつて経験したことがない現象に遭遇することが近年多くなっています。自然の摂理によるものなのか、人類が自ら背負った報いなのかは分かりませんが、未来の子ども達のため、持続可能な社会に変えていく努力は必要ですね。(F)

第 5 2 号

令和3年3月15日 発行  
— 編集・発行 —  
豊津地区まちづくり委員会  
(情報発信専門部)

# とよつだより



十一月五日〜八日、「第二十五回とよつまつり」を開催しました。新型コロナウイルス感染症の影響から、開催について協議した結果、各種団体の日頃の成果を展示・紹介する作品展のみの開催となりました。

密集・密接を避けるため、模擬店や演芸発表等がなく、館内のほぼ全体が作品展という、例年とは趣の異なるまつりとなりました。訪れた方々は公民館を利用する団体の皆さんや豊津小児童の素晴らしい作品に魅入っていました。会場の雰囲気や作品の一部を紙面でご紹介いたしますので、どうぞご覧ください。

渾身の力を込めた作品がずらりとよつまつり作品展



URL

Facebook(フェイスブック) : <https://www.facebook.com/toyotsumachi>  
Twitter(ツイッター) : <https://twitter.com/toyotsumachi>

QRコード Facebook



Twitter







第53号

令和3年7月15日 発行  
— 編集・発行 —  
豊津地区まちづくり委員会  
(情報発信専門部)

# とよつだより



<写真上・左から>

- 黒須 均さん (大船津第1区)
- 遠藤 操さん (爪木区)
- 成瀬 隆さん (大船津第2区)

<写真下・左から>

- 内野賢良さん (大船津第3区)
- 名和 茂さん (大船津新田区)

令和三年度  
区長紹介

## リトルファーム

5月29日、とよつキッズ事業の一環として、子どもたちは花(百日草、ひまわり)の苗植え、大人たちは夏野菜(キュウリ、トマト、スイカ)の手入れを行いました。

また、26日には豊津小学校低学年の8人が生活科の事業としてさつま芋の苗植えを行いました。

みんな、この後に咲くきれいな花や収穫した美味しい野菜を思い浮かべていたことでしょう。

引き続き、子どもたちには、登下校時や公民館に遊びに来た時など、野菜や花の生育を観察していただきたいと思います。

参加者31人  
(うち 子ども14人)



### 田植え体験

5月7日、豊津小学校の5・6年生が地域の方の指導を受けながら、田植えをしました。裸足になって自然を感じながら、一生懸命、苗を植えました。美味しいお米が採れるのが、楽しみです。



お願ひします。

どうぞ、よろしく

まなならない時勢です  
が、限られた環境の中  
でも自分たちでできる  
ことを探して進めて  
いきたいと思ひます。

び代があると感じることが  
できませんでした。

昨年年度からのコロナ禍  
で通常の事業がま

日頃より、まちづくり事業  
として公民館活動への御協  
力ありがとうございます。

公民館に勤務し、四年目を  
迎えました。これまで地域  
の皆さんと共に進めてきた  
まちづくりの事業は、とて  
も貴重な体験でした。選  
歴を過ぎましたが、未だに  
自分の成長に伸び代がある  
と感じることができませんでした。

昨年年度からのコロナ禍  
で通常の事業がま



### 四年目を迎えて

「そよかぜ」を注視していただき、ご参加  
くださいますようお願いいたします。

今年度は、『ふれあい運動会』や『とよつ  
まつり』が、皆さんと一緒に笑顔で実施でき  
ることを非常に楽しみにしています。このよ  
うな活動が長く止まってしまうと、いざとい  
う時の行動が難しくなります。行事等につい  
ては密を避けて実施しますので、かわら版  
「そよかぜ」を注視していただき、ご参加  
くださいますようお願いいたします。



皆さんとの活動が楽しみです

まちづくり委員長 和田 勉

日常生活内の活動がコロナ  
禍により制限されている中  
において、五月下旬からワクチン  
接種が順次実施され、明るい兆し  
がようやく見えてきました。

URL

Facebook(フェイスブック):<https://www.facebook.com/toyotsumachi>  
Twitter(ツイッター):<https://twitter.com/toyotsumachi>

QRコード Facebook



Twitter



# 第39回北浦一周サイクリング



まだ雨が降る前、快調にスイスイと



事業の生みの親 箕輪さん



雨で合羽を羽織る

五月二十二日、朝からの雨で出発を約一時間遅らせ、九時四十分には豊津公民館を出発。一旦は上がった雨が途中で降りだし、気温も低く、肌寒いというコンディションでしたが、参加者全員、無事完走できました。

開会式には、この事業の生みの親である箕輪礼子先生（元・公民館長）が三年振りに参加され、御挨拶をいただきました。近年、サイクリングが主目的になってきていますが、始めは北浦の水質浄化を訴えるための事業だったことを改めて思い出しました。

さて、第三十回の時には、初心に返って銚田市経由の北浦一周をしました。来年は、節目となる第四十回です。久しぶりの『北浦一周』になるかどうか楽しみにしててください。



一の鳥居で安全祈願



< 6年間完走賞 >

浅間 終太さん

大森 陽向さん

★★ つぶやき ★★ 水稲から始めたブチ農場も、芋・落花生と広げ、今回はにんにくに挑戦。スーパーや専門店から購入した大粒・小粒の種を十月末にまき、肥料を二回与え、苦手な草抜きもこなし、生育を見守りました。春の温暖な気候のおかげで生育も早まり、五月中旬には無事、収穫ができました。スーパーで買った大粒の種はまだ良かったのですが、総じて出来はイマイチでした。農業は、土づくりと日頃からの管理が肝要ですね。(H)

- 六月二日 高齢者スポーツ大会
- 入賞者は、次のとおりです。
- ＜グラウンドゴルフ＞
  - 優勝 黒須はるさん
  - 二位 高安茂さん
  - 三位 遠藤喜平さん
  - ＜輪投げ＞
  - 優勝 根本芳子さん
  - 二位 青木春江さん
  - 三位 小沼ナミさん
  - ＜クロッケー＞
  - 優勝 新田A（大川金作さん、大川淑江さん、青野静江さん）
  - 二位 大船津A（荒野昭さん、郡司由一さん、郡司みよ子さん）
  - 三位 新田B（青木金司さん、青木春江さん、大川初江さん）



URL

まちづくり市民センターホームページ（豊津発行物ページ）  
<http://kashimashi.info/kouminkan/page-53/page-133/>

QRコード



第 5 4 号

令和3年12月15日発行  
— 編集・発行 —  
豊津地区まちづくり委員会  
(情報発信専門部)

# とよつだより



## 遊びの 広 場

### 第26回

## とよつまつり

今年はちょっとにぎやかに



十一月十八〜二十一日の四日間、「第二十六回とよつまつり」を開催しました。

昨年、新型コロナウイルスの影響により、作品展しかできませんでしたが、今年はコロナ禍でも賑わいを取り戻そうと、皆様のご協力をいただき、屋外での催し物も行いました。

これまでのような模擬店や芸能発表までできませんでしたが、作品展の他に、喫茶コーナー、カレーどんぶりのテイクアウトやシクラメンの販売といった模擬店の復活、子どもたちが集う「遊びの広場」などを企画しました。

喫茶コーナーや「遊びの広場」など屋外の催しは二十日(土)と二十一日(日)に行いましたが、天気にも恵まれてまずまずの人数となりました。

とはいえいつもの、一昨年までと比べると寂しさは否めません。来年こそは、新型コロナが収束し、またいつもの笑顔と会話がふれる「とよつまつり」ができることを切に願います。

### 作品展



### 模 擬 店

URL

Facebook(フェイスブック):<https://www.facebook.com/toyotsumachi>  
Twitter(ツイッター):<https://twitter.com/toyotsumachi>

QRコード Facebook



Twitter



爪木の 八朔まつり を見学 ～レッツ・ウォーキング～

「8月1日」と言えば『八朔』。今回のレッツ・ウォーキングは、公民館から爪木の熊野神社まで行き、八朔まつりを見学してきました。(参加者10人)

現地では、遠藤喜平さん(写真左)から八朔まつりの概要や、爪木地区内に数多く祀られている神様の話を聞かせてもらいました。その後、すずらん子ども会の児童たち手作りの行灯で彩られた21段の石段を登り、熊野神社をお参りしました。



「八朔まつり」は、五穀豊穰を願い、そして祝う行事です。このような行事が子どもたちも一緒になり、地域の年中行事の一つとして定着していることから、爪木地区の皆さんの信仰心が篤いことがあらためてわかりました。

これからも長く続いてほしいですね。



ソフトボール大会 爪木区がV 新田区が準V

延期していたソフトボール大会を、十一月十四日にト伝の郷運動公園で開催しました。今年も五チームの参加となりましたが、清々しい天候の下、日頃のストレス発散も含め、皆さん元気いっぱいプレーし、気持ち良い汗を流しました。結果は爪木区の優勝。皆さん、お疲れ様でした。



三世代で グラウンドゴルフ を楽しみました

10月23日、晴天に恵まれて気持ち良い日差しの中、三世代(四世代?)交流グラウンドゴルフを実施しました。



子どもたちやお父さん・お母さんたちにとっては初めての経験でしたが、日々グラウンドゴルフを楽しんでいる大船津グラウンドゴルフ会の皆さんが先生になり、打ち方や力加減などを丁寧に教わり、徐々にコツをつかんでいきました。おじいちゃんやおばあちゃんたちとの会話も弾み、楽しい時間を過ごすことができました。



▲ 熟練の技を伝授

今年も流川で ホタル を鑑賞しました



7月3日、恒例のホタル見学会を行いました。昨年は、コロナ禍のため、自主的な見学会でしたが、今年度は事業として実施し、総勢で96人の参加がありました。

まず、玄関前でホタルの生態などを学習。その後、大船津公会堂付近の流川に移動し、暗闇に光る「平家ボタル」を探しました。

参加者によると、今年は少なく感じられたようですが、それでも10匹以上を確認し、中には手に乗せてじっくり見た児童もいました。来年もいるといいな!



▲ 出発前にホタルについて簡単に学習



▲ 間近でホタルを確認

津」を維持していききたいですね。豊津の魅力をほめてくれ、嬉しくなりました。いつまでもこの「きれいな豊川」の穏やかな水面と一之鳥居など、大掾辺田付近の水田風景や、北浦(鰐)を巡るもの。豊津公民館にトイレ休憩で立ち寄る人もいましたが、口々に発着で、天狗堂の墓や西の一之鳥居などが行われまし。コースは鹿島神宮駅R東日本主催の「駅からハイキング」が行われまし。コースは鹿島神宮駅が発着で、天狗堂の墓や西の一之鳥居などを巡るもの。豊津公民館にトイレ休憩で立ち寄る人もいましたが、口々に大掾辺田付近の水田風景や、北浦(鰐)川)の穏やかな水面と一之鳥居など、豊津の魅力をほめてくれ、嬉しくなりました。いつまでもこの「きれいな豊津」を維持していききたいですね。

え合っています。目的に向けて、それが目標を掲げ、できることからやる。何もそうですが、地域コミュニティ作りも同じ。豊津のみんなが支え合っています。



「公民館を核とした共創のまちづくり」を目指し、市民の学習と活動を支援する公民館の役割などについて考える地域活動学習会が、十月十七日に開かれました。講師である元茨城大学准教授の長谷川幸介先生(写真右)から、わかりやすく、人間の進化、社会(組織)の転換、そして公民館の役割等の話がありました。人は、血縁・地縁・友縁・職縁と、大きく分けて『四つの縁』で支え合っている、という話には、皆さんうなずいていました。目的に向けて、それが目標を掲げ、できることからやる。何もそうですが、地域コミュニティ作りも同じ。豊津のみんなが支え合っています。



『支え合いが大事!』を再認識

URL

まちづくり市民センターホームページ(豊津発行物ページ) <http://kashimashi.info/kouminkan/page-53/page-133/>

QRコード



第55号

令和4年3月15日 発行  
 — 編集・発行 —  
 豊津地区まちづくり委員会  
 (情報発信専門部)

# とよつだより

## 第十七回 とよつかるた大会

令和四年一月二十三日(日)

新型コロナウイルスの感染が急速に拡大する中での開催となり、当日来る人がいないのではと危惧しましたが、事前の申込み者数を上回る参加をいただき、無事開催できました。

感染予防として、かるた取りだけにし、恒例の餅つきや花餅づくりは、中止にしました。また、皆さんが一番楽しみにしている、お雑煮やあんころ餅などの食事はありませんでしたが、「のし餅」を参加賞として用意し、自宅で食べていただきました。

昨年は大会そのものが中止だったことから、今年はコロナ禍でも開催できたことに意義があったと思います。役員の皆さん、お疲れさまでした。

参加者

幼児の部	3人	高学年の部	5人
低学年の部	2人	一般の部	10人
中学年の部	3人	シニアの部	4人



三位	二位		中学年の部 優勝
鬼澤由衣さん	今泉和士くん (かずし)		

浅間 柚羽(ゆずは)さん  
感想…楽しかった。

二位		低学年の部 優勝
君和田心結さん (こころ)		

黒須 雄大(ゆうだい)くん  
感想…良かった。

三位	二位		幼児の部 優勝
今泉輝一くん	浅間琴羽さん (かづは)		

黒須 敢太(かんた)くん  
感想…うれしかった。

三位	二位		シニアの部 優勝
大川 悟さん	高木文江さん		

高木 清(きよし)さん  
※表彰式前に帰ってしまったので感想を聞けませんでした、うれしかったと思います。

三位	二位		一般の部 優勝
君和田佑子さん	今泉知香さん		

山町 未来(みく)さん  
感想…旦那から「必ず勝ってこい！」と言われていたので、勝って良かったです。

三位	二位		高学年の部 優勝
浅間柊太くん (しゅうた)	今泉結愛さん (ゆあ)		

山町 彩奈(さな)さん  
感想…コロナでできないと思ったけど、できて良かったです。

URL

Facebook(フェイスブック) : <https://www.facebook.com/toyotsumachi>  
 Twitter(ツイッター) : <https://twitter.com/toyotsumachi>

QRコード Facebook



Twitter



防災時の対応は“慌てずに！” 地域連携も重要

令和3年12月14日、豊津小学校で、児童、教職員や保護者に正・副区長や公民館職員も参加し、地域での「防災合同学習会」が開かれました。学習会では、市交通防災課の職員から災害時の避難行動や心構えなどの講話を聞いた後、段ボールベッドの組立て体験をしました。また、水戸地方気象台の職員からは、台風や大雨から身を守るための対応などの説明を受けました。

災害時などの「いざ」という時、慌てず普段どおりに行動することはなかなかできることはありません。そのためにも、学習や体験は非常に重要です。このような学習機会を継続して設けるようにし、自分自身の安全、そして**地域の安全・安心**を高めていきたいですね。



▲段ボールベッドの組立てに挑戦



▲講師の話に熱心に聞く児童たち

＜参加者の感想＞

- ・段ボールベッドの組立てはみんなで協力してできたけど、180キロの重さまで大丈夫だと聞いて驚きました。
- ・今回の防災学習で勉強したことを家族でもう一度話し合っ、災害時に備えたいと思いました。

通学路の安全を確認しました

2月24日、児童たちの下校に合わせ、通学路を中心に「地域安全点検」を行いました。この事業は、毎年度、大人・子ども両方の視線から危険の有無を確認し、市に改善の要請を行っているものです。併せて、『**子どもの家110番**』に協力いただいている家庭へお礼の手紙を渡し、引き続きの協力をお願いしました。

また、通学路にはあいさつ標語看板が設置されていますが、その老朽化も目立っています。今月中には新しい看板も立つ予定ですので、どんな標語があるか楽しみにしてください。



食事や毎日の習慣 皆さんもチェックしてみては

新型コロナウイルス感染症の拡大を受け、多くのイベントが中止になり、外出する機会も制限される中、生活習慣病の予防や健康意識の高揚を目的に『**健康チャレンジ**』を企画しました。かわら版「そよかぜ」で募集したところ、36人の参加がありました。

チャレンジシートには約20の項目があり、2カ月間、毎日、実施できたかどうかを記録。他の人との比較ではないため、概ね目標を達成できた方が多かったようです。

これをきっかけに健康づくりに関心を持ち、習慣化させることによって**健康寿命**を延ばしていただきたいです。



＜チェック項目の例＞

- ・笑う（免疫機能を担う細胞の活性化に）
- ・あいさつする（コミュニケーションで気分一新）
- ・腸活をする（善玉菌を増やしましょう）
- ・よく噛んで食べる（ストレス緩和や脳の活性化に）
- ・間食を減らす（習慣になりがち。その一口が…）
- ・休肝日（できれば週休2日。肝機能も休みが必要）
- ・ラジオ体操（丁寧にやれば、うっすら汗も）
- ・ウォーキング（無理をしない程度に）
- ・体重測定・血圧測定（日々の健康観察が重要）

☆つぶやき☆  
津小の五年生が環境学習の一環として、一月十八日、豊津地区には、豊かな自然と魅力的な撮影スポットが多くあります。北浦に映える夕日を撮影しよう、西の一角の鳥居には、内外から多くの人が訪れていますが、未来に美しい環境を残すために、水辺の環境保全の輪を広げたいです。（ゆ）

まちづくり市民センターホームページ（豊津発行物ページ）

URL <http://kashimashi.info/kouminkan/page-53/page-133/>

QRコード



第56号

令和 4年 7月15日発行  
— 編集・発行 —  
豊津地区まちづくり委員会  
(情報発信専門部)

# とよっだより

## 令和4年度の区長さん をご紹介します

(写真後列・左から)

- ・内野安彦さん (大船津第1区)
- ・和田勉さん (大船津第2区)
- ・松岡重喜さん (爪木区)
- (写真前列・左から)
- ・宮本勝典さん (大船津新田区)
- ・海老澤良政さん (大船津第3区)



1年間、どうぞよろしく  
お願いいたします (^^)  
~豊津地区住民一同~

## 今年度の職員です。よろしくお願いします!

沢畑好一センター長、遠藤和子主事、石田藍主事、  
笹木恵子地域福祉推進員の  
4人は継続し、新たに藤枝  
英夫地域活動支援員 (写真  
後列右) と海老澤歩美補助  
職員 (同・前列中央) が加わりました。



※大川悟地域活動支援員と黒須ゆき主事が、退職されました。

## みんなの豊津をきれいに

豊津地区まちづくり委員会では、地区内の環境保全を目的に、「豊津クリーン」を実施しています。今年度も二回の実施を予定しており、五月八日に一回目を行いました。北浦(鰐川)の堤防や産業道路沿いには、残念ながらまだゴミが目立ちます。地道な活動ではありますが、きれいな豊津を目指して頑張っていきたいと思います。次回は、八月七日(日)を予定しています。多くの方のご参加をお願いします。



▲ 今回は109人の参加があり、合計34袋が回収されました。

## コロナ対策をして事業実施

まちづくり委員長 和田 勉

令和四年度の活動にあたり、一言ご挨拶申し上げます。

この二年間、コロナ禍によりまちづくり委員会の活動が停滞を余儀なくされました。今年度につきましては、ワクチン接種等の効果により、対策を講じての開催が可能となり、実施できることに感謝したいと思います。

また、まちづくり委員の方々におきましては、活動休止期間を含め、委員継続に快く承諾をいただき、本当に感謝申し上げます。

特に、今年度は「ふれあい運動会」が実施できるよう期待したいと思っております。皆さん、どうぞよろしくお願いいたします。

## コロナ禍でも有意義な活動を

まちづくりセンター長 沢畑 好一  
日頃より、まちづくり事業に御協力をいただき、ありがとうございます。

コロナ禍の二年半、制限のある限られた環境の中でも実践できることを話し合ってきました。

感染予防のための生活の不自由さは暫く続きそうですが、有意義な活動を推し進められるように、これからも地域の方々と共に考えていきたいと思っております。

これまでの経験を踏まえて、職員一同、皆様のサポートに努めてまいりますので、今後ともよろしくお願いいたします。

情報発信専門部ではFacebook, Twitterでも豊津まちづくりセンターの情報を発信しています。(URL、QRコードは2面)  
まちづくり市民センターのホームページでも豊津の情報は見られます。(URL、QRコードは3面)

「湖はみんなの宝 みんなの命」

第40回 北浦一周サイクリング

第40回を記念して、オリジナル缶バッジを作りました ⇒



六月五日、豊津恒例の「霞ヶ浦浄化キャンペーン」で、数えること四十回目！北浦一周サイクリング」が行われました。今年開会式では、創始者の箕輪礼子さん（当時・豊小教諭）からこの事業の経過や思い出が熱く語られ、多くの人の参加と協力によってつながれてきていることを学び、元気に出発しました。堤防がきれいに舗装され、走りやすくなったといえ、脚やお尻の痛みが参加者に襲いかかりました。しかし、無事、全員笑顔でゴールしました。の目標は、五十回。みんなで頑張りましょう！

▼箕輪礼子さん（中央）と山町重信さん（左）に感謝状が贈られました。



▲育成会副会長のお父さんから「完走賞」をいただいた山町彩奈さん



URL

Facebook(フェイスブック) : <https://www.facebook.com/toyotsumachi>  
Twitter(ツイッター) : <https://twitter.com/toyotsumachi>

QRコード Facebook



Twitter





# 豊津地区コミュニティプラン①

皆さんは『豊津地区コミュニティプラン』をご存じでしょうか？

鹿嶋市内の全まちづくり委員会が、令和二年度に小学校区（十二地区）毎にコミュニティプランを作成し、豊津地区まちづくり委員会で作成したのが『豊津地区コミュニティプラン』で、昨年度、区配布にて各ご家庭へ概要版をお届けしました。

「そんなのあったっけ？」と思う方も多いかと思いますが、令和元年度から市全体で学習会等を開き、地区の代表者がプランの作成方法を学んだのですが、いざ作成という段階になって新型コロナウイルス感染症が流行し、関係団体の会合や地域住民の方の声を聞く機会を設けられず、一部の関係者だけで作らざるを得なくなっていました。そのため、地域での認知度がいまひとつ低いと言わざるを得ません。

もし、ご家庭にコミュニティプラン概要版がありましたら、一度、目をお通しください。「もうなくなっちゃったよ」という方も多いと思いますので、簡単に内容を紹介しておきます。

まず、目指す地域全体の将来像として、『豊富な水と風光明媚なこの地とよつの環境を活用し、未来に向けて豊かな人づくり、人と人をつなぐまちづくり』を挙げています。

さらに、鹿嶋市市民憲章に沿い、次の五つを目標に挙げています。

一 豊かな自然を愛し水と緑の美しいまちにしよう

（自然環境・景観）

二 歴史と伝統に誇りをもち薫り高い文化のまちにしよう

（歴史・教育）

三 スポーツに親しみ健康で明るいまちにしよう

（健康・スポーツ）

四 お互いの立場を尊重し思いやりの心で住みやすいまちにしよう

（福祉・防災）

五 みんなの力を合わせ潤いと活力のあるまちにしよう

（自治・産業）

こうした目標達成のため、令和三年度から五年度にかけて、地域の活動団体が具体的に取り組む活動を定めています。計画した活動は、既に取り組んでいるものに加え、新たに取り組むものもあります。

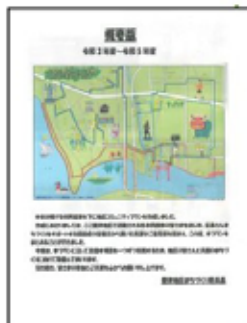
既に計画年度は二年目に入っていますが、最初に述べたとおり、まだ知らない人が多いと思いますので、まずは皆さんに知ってもらおうことが第一と、今年度は「とよつだより」をシリーズでお知らせします。

またコミュニティプラン作成の意義の一つとして、その作成過程で関係団体が協議し、地域課題を共有、一緒に解決策を考えることが、「地域の力」になるといわれています。これについて作成の時に限られた関係者でしか検討ができませんでしたので、今後の進捗管理において、できるだけ多くの関係者（団体）と協議の場を設け、「地域の力」を高められたらと考えています。

こうしたことについても、決まり次第お知らせしてまいりますので、皆様のご協力をよろしくお願いいたします。ご不明な点がございましたら、気楽にどうぞ公民館へお問い合わせください。

## ◆コミュニティプランの主な既存事業

- ・豊津クリーン
- ・北浦一周サイクリング
- ・ふれあい運動会
- ・レッツウォーキング
- ・ソフトボール大会
- ・高齢者スポーツ大会
- ・とよつキッズ
- ・とよつカルタ大会
- ・防災訓練
- ・地域安全点検と要望（危険箇所）
- ・地域写真展（地域再発見） など



## ◇コミュニティプランの主な新規事業

- ・北浦の活用事業（カヌー体験等）
- ・ここに住み暮らす高齢者の声を聞く
- ・自宅でできる運動機能の向上
- ・まち一番の健康寿命地区づくり
- ・独居高齢者の避難誘導訓練
- ・自警団・消防団との課題共有 など

URL

鹿嶋市ホームページ豊津公民館  
<https://city.kashima.ibaraki.jp/soshiki/118/>

QRコード



〜気持ち良い汗かきました〜

五月晴れ(今年一番の暑さを記録)の下、ト伝の郷運動公園でソフトボール大会が開催されました。区毎の五チームが参加し、熱戦を繰り広げました。皆さん、たいへんお疲れ様でした。

☆優勝 大船津第二区  
☆準優勝 爪木区



▲ 決勝戦は、劇的な逆転サヨナラゲーム!



▲ 優勝した大船津第2区

とよつきッズ リトルファーム

五月二十一日 子どもたちとスイカやキュウリといった夏野菜や、百日草等の花の苗を植えました。(参加者:子ども八人・おとな十九人)  
肥料をまいたり、鍬で畝をつくったり、初めて体験する子どもたちもいましたが、まちづくり委員の指導や協力の下、上手に苗を植えることができました。

子どもたちも「疲れたけれど楽しかった」、「収穫が楽しみ」と話していました。  
八月には、収穫祭を予定しています。自分で育てた野菜は、きつと美味しいぞ!



みんな、頑張りました〜

五月二十六日 田んぼを渡る風がさわやかな季節、**高齢者スポーツ大会**が行なわれました。練習の成果をだそうと集中した姿が見られましたが、休憩時にはあちこちから笑い声も聞こえ、久々の再会を楽しんでいる様子でした。結果は次の通りです。

- ★クラウンドゴルフの部
  - 優勝 高安 茂さん
  - 準優勝 坂本 好子さん
  - 三位 根本 芳子さん
- ★掬げの部
  - 優勝 遠藤 喜平さん
  - 準優勝 坂本 好子さん
  - 三位 遠藤 道子さん
- ★ラケットの部
  - 優勝 大船津(荒野昭さん、新信田浩一さん、郡司みゆ子さん)
  - 準優勝 新田A(青木春江さん、大川初枝さん、青木金司さん)
  - 三位 新田B(大川金作さん、青野静江さん、大川淑江さん)



田んぼ体験

豊津小地域学校協働活動

五月二日、晴天の下、豊津小四〜六年生の児童が、地域の学校支援ボランティアの方々の指導を受けながら、楽しく田植え体験をしました。秋の稲刈りが楽しみですね。(圃場提供・高安広子さん)

《感想》

四年生 岡本 珠愛(じゅら)さん  
初めは簡単だと思ったけど、田んぼが深かったりして難しかった。次は頑張りたいと思います。

五年生 渡辺 寛菜(かんな)さん  
初めての田植えで難しく、むちゃむちゃ転んだけど、楽しかった。

六年生 君和田 珂那(かや)さん  
去年の失敗を活かし、今年は頑張りました。昔の人は、こんなに大きな面積を手で植えていたなんてすごいと思いました。ありがとうございました。



普段何気なく見ている身近な景色も、様々な表情があります。このコーナーでは、「豊津デジカメ部」の作品を通して、豊津地区の素敵な景色を再発見していきます。

この景色 いいね! ①

第1回目は、「鹿島神宮 西の一之大鳥居」。水上鳥居としては“日本最大級”ということから、県内外から多くの方が訪れます。夕暮れ時に多い傾向ですが、年間を通し、朝・昼・夕それぞれに趣きがあり素敵な景色です。

※『豊津デジカメ部』では、写真に興味のある方の参加をお待ちしています。問い合わせは、沢畑センター長へ。



余裕(暇)が出来たことで、断捨離(だんしやり)を始めました。断捨離にも「人の物は捨てるな、その時の気分で作るな、一日で終わるな」など、色々ルールがあるようです。  
やり方はエリアを分け、良く使う場所から始め、思い出の詰まった物は最後にする。残す物の量・数を決め、「必要」・「不要」・「保留」の三つに分類する。それで無駄な買い物がなくなり、節約にもつながるとのことです。  
整理することで、自分にとって必要な物、大切な物を見極めることができます。でも、あまり熱心にやり過ぎると、最後に自分が断捨離されるかも!皆さんもご注意ください。(H)

◇うらら会(豊津地区社会福祉協議会)・・・5月17日に地区社協活動支援会議を開催し、今年度の事業計画確認しました。昨年度は新型コロナウイルス感染症の影響で中止した事業が多かったのですが、今年度は対策を講じて、できるだけサロンや遠足、クリスマス会などの事業を行っていく予定です。どうぞ、楽しみにしてください。

第57号

令和4年11月15日発行  
— 編集・発行 —  
豊津地区まちづくり委員会  
(情報発信専門部)

# とよつだより

## 第15回とよつふれあい運動会

### ～つなげバトン 努力と笑顔と感謝をのせて!～

**「コロナに負けず」楽しく開催**

十月八日、新型コロナウイルスの感染対策を講じて『第十五回とよつふれあい運動会』を開催しました。奇しくも、第一回ふれあい運動会の開催は、平成十八年の十月八日。その時のスローガンは、「いきこぞひとつ」とよつちから「ちいさのわ」でした。初の合同運動会で不安いっぱい開催でしたが、その後、地域の子どもの成長を地域全体で喜ぶとともに、老若男女が競技を通して触れ合う中で、絆を深めていくことができる地域の一大イベントとして、綿々と継続されてきました。

残念なことにコロナ禍で中断していましたが、できる範囲でやってみようという学校の判断から、晴れて三年ぶりの開催となりました。児童の種目の合間に実施した地区種目は三つだけでしたが、参加された皆さんは楽しい時間を過ごされたようです。

今回のスローガンは、「つなげバトン 努力と笑顔と感謝をのせて」です。このふれあい運動会を、着実に次の世代・学年へバトンをつないでいこうという気持ちで強く込められた素晴らしいスローガンですね。

この一歩は、きつと来年度以降の開催に向けた大きな一歩になるものと考えます。開催に際し、実施種目の選考や当日の役割等でお骨折りにいただいたまちづくりセンター職員やまちづくり委員の皆様、小学校関係者、そして参加された皆さん、たいへんお疲れ様でした。

(▼開会式の様子)



▲児童たちから感謝を込めて玉手箱の手渡し



**大会長 (豊津小学校長) 小沼 剛**

運動会も、学校教育活動の一つです。日々の教育活動一つ一つにも狙いが設定されています。児童のより良い成長を願い、様々な狙いを達成するために、学校教育が実施されています。

今年度、新たな形での「ふれあい運動会」が実施できたことは、児童にとつて、さらにより良い活動になったことと思います。

関係いただきました皆様に感謝申し上げます。ありがとうございます。

**副大会長 (まちづくり委員長) 和田 勉**

三年ぶりに実施された「ふれあい運動会」。コロナ禍による制限があったにもかかわらず、多くの方々の参加をいただきました。本当にありがとうございます。

今回の子ども達の元気な演技が、応援席に向かって実施できたことは、歓迎の気持ちがあっても強く伝わったと思います。いろいろな制限の中での運動会でしたが、豊津地区の皆さんの元気がうかがえる一時だったと思っています。

情報発信専門部では Facebook, Twitter でも豊津まちづくりセンターの情報を発信しています。(URL、QRコードは2面) 鹿嶋市のホームページでも豊津の情報は見られます。(URL、QRコードは3面)

### 第15回 とよつふれあい運動会

令和4年10月8日(土) 8時30分～

※ 赤字は地区種目

#### 開会式

- 1 **クイズチャンピオン**
- 2 ハッピーハロウィン  
(1～3年生:個人種目)
- 3 山あり 谷あり!  
(4～6年生:個人種目)
- 4 二人でゴー!  
(1～3年生:団体種目)
- 5 成長を感じて!  
(6年:親子競技)
- 6 応援合戦  
(全校児童)
- 7 つなひき  
(全校児童)
- 8 **大玉転がし**
- 9 巻き起こせ、豊津旋風  
(4～6年:団体種目)
- 10 レッツ・ダンス!!  
(1～3年:表現運動)
- 11 ウィズ グラティチュード  
(4～6年:表現運動)
- 12 **玉手箱 (65歳以上の高齢者)**
- 13 豊津っ子ソーラン  
(全校児童)
- 14 紅白対抗リレー  
(全校児童)



#### 閉会式

( 終了:11時38分 )



(写真説明)

①校門脇で受付と検温・手指消毒/②今回のクイズチャンピオンは坂本紗良さん(小学5年生)に/③地区種目の大玉転がし/④低学年の可愛い表現運動/⑤高学年の見事な表現運動

「ふれあい運動会」の二コマ

運動会が実施に至るまで

・第一回実行委員会(七月十四日)  
・この二年間でできなかったふれあい運動会を実施したい。  
・食事は不安なので、午前中で終了させる。

・第二回実行委員会(九月十三日)  
・参加者の名簿を作成して、当日は受付で手指消毒・検温をする。  
・地区種目は、児童種目の間に、密にならない種目を三つ実施。  
・今回は特殊な開催とし、コロナ終息後は従来の形に戻したい。



七月十六日、鹿嶋市と豊津まちづくり委員会が合同で防災訓練を行いました。市では、避難所ごとに担当する職員が決められており、今回は豊津公民館担当の六人の市職員が来ての訓練となりました。

今回の訓練は、茨城県で大きな地震が起き、豊津公民館が避難所として開設され、避難者を受け入れるという想定のものでした。新型コロナウイルス感染症がまだ終息していませんので、感染拡大防止に配慮した訓練となりました。

避難者を受け入れるにあたり、まず市職員が入り口で検温と問診を行い、コロナ感染の疑いがないことを確認してから、避難者名簿に名前等を記入してもらい、避難スペースへ誘導を行いました。

避難スペースでは、感染防止用のワンタッチ避難ルーム(テント)や段ボールベッドを避難者が自分たちで実際に設置しました。ベッドは割と簡単に組み立てられました。テントはたたむのに少し苦労したようでした。

あいにくの空模様だったということで、訓練に参加した地域の方は十七人と少なかったのですが、地域のリーダーの方が多く、もし災害が起きた時には今回の訓練の成果が生かされることでしょう。



まよがし備え 合同防災訓練

URL

Facebook(フェイスブック) : <https://www.facebook.com/toyotsumachi>  
Twitter(ツイッター) : <https://twitter.com/toyotsumachi>

QRコード Facebook



Twitter



豊津地区コミュニティプラン②

豊津地区コミュニティプラン  
第一回検討会開催

前回の「とよつだより」で、豊津地区コミュニティプランの概要と策定委員会で十分に審議されなかった問題、今後の進捗管理方針について書きました。

その時、『今後の進捗管理において、できるだけ多くの関係者(団体)と協議の場を設け、「地域の力」を高められたらと考えています。』と記載しましたが、その協議の場として、九月十八日に第一回検討会を開催しました。

検討会のメンバーは、計画作成の際に結成した豊津地区コミュニティプラン策定委員会の構成委員と基本的に同じとしました。ただし、区長等充て職で選ばれている委員は当時と変わっていますので、現職の方にお願ひしております。

第一回検討会では、コミュニティプランで計画した事業を令和五年度にどう実施するかを話し合いました。

コミュニティプランは令和二年度に作成し、令和三年度から五年度までに実施する事業を定めております。しかし、コミュニティプランの策定委員会が一回しか開催されず、プランの内容についての議論はなかったこともあり、この事業の中には、コミュニティが実施するものとしては適当ではないものや、内容が精査されず、文言だけ書かれて具体的内容がわからないものも多くあります。また、計画期間が三か年なので、多くの事業を行うのには無理があります。

さらに、コミュニティプランには既存事業の継続と新規事業を定めています。令和三年度は既存事業だけの実施でした。令和四年度についても、既にまちづくり委員会総会において今年度実施する事業は決まっております、その中に新規事

業ほとんど含まれていません。

つまり、これまで新規事業はほぼ着手がされておらず、新たに実施するには、残りの期間がほとんどない状況にあります。

そこで、新規事業については、まずコミュニティが行うには適当でない事業を整理し、検討対象外としました。さらに残りの事業のうち、既存事業に付加する形でできるものを対象としました。検討した結果、この事業であれば来年度一年でもある程度実施可能と判断しました。今回はこの絞り込みまで行い、具体的な事業展開については事務局とまちづくり専門部会で詰め、次回の検討会で決定し、令和五年度のまちづくり事業に反映していきます。

具体的事業については、次回のとよつだよりで報告する予定です。



豊津地区コミュニティプラン検討会委員

No	氏名	所属団体等
1	和田 勉	まちづくり委員長 他
2	海老澤 良政	まちづくり副委員長 他
3	宮本 勝典	新田区長
4	内野 安彦	大船津第一区長
5	松岡 重喜	爪木区長
6	糟谷 純子	うらら会会長 他
7	内田 博道	おおふなつ自警団
8	坂本 大輔	豊津小学校PTA会長
9	伊原 健市	消防団
10	高安 広子	市社会教育委員
11	桐生 進一	市役所協力委員
12	君和田 浩幸	市役所協力委員
13	沢畑 好一	豊津まちづくりセンター長

URL

鹿嶋市ホームページ豊津公民館  
https://city.kashima.ibaraki.jp/soshiki/118/

QR コード



### 手先に集中 ハーバリウム作り

9月11日、山口智美さん(大船津: 山口生花店)を講師に迎え、楽学セミナー「ハーバリウム作り」を行いました。

思いどおりの場所に材料のプリザーブドフラワーを置くことができず苦勞していたようですが、皆さん、最後はキレイな作品ができあがりました。



### ホタル見学会

7月2日(土) 午後7時~  
開閉会式: 豊津公民館  
見学場所: 流川



今年のホタル見学会は、豊津小全校生徒数に近い申し込みがありました。当日は欠席者が数名いましたが、人数が多かったため2班に分かれて見学に行きました。

6月末に暑い日が続いたためか、流川は藻で覆われていて、ホタルがなかなか見つかりませんでした。今年はダメかなと思いましたが、終り間際にホタルを見つけることができ、喜んだと同時にホッとしました見学会でした。

### リトルファーム 収穫祭 8月6日

5月にふれあい農園に植えた野菜や花が実り、収穫祭を行いました。

きゅうり、すいかの収穫、百日草やヒマワリの花摘みをし、すいかは皆で美味しく食べました。

他にかき氷や枝豆もふるまわれ、お土産に切り花を持ち帰り、少ない参加者ながらも、楽しい収穫祭でした。



### ポッチャ体験 10月21、23日

東京パラリンピックなどで知られるようになった「ポッチャ」。どれだけのボールを近づけられるかを競う、誰でもできるヨーロッパ生れのスポーツです。

既に同好会が週1回公民館で活動していますが、さらに愛好者を増やそうと体験会を開催しました。

12月18日には地区対抗ポッチャ大会を予定しています。



### この景色 いいね! ②

今回のテーマは、「自然」。四季折々に、いろいろな表情があります。皆さんは、どこの景色かわかりますか?



### 田んぼ体験(稲刈り) 9月8日

豊津小学校の4~6年生が、黄金色に実った稲を鎌で手刈りしました。学校支援ボランティアなど、地域の方々の指導を受けて、上手に刈ることができました。



私はこの夏、茨城県警が制作した交通安全動画「その手で合図、止まってくれてありがとう」(主演・アントキの猪木さん)に出演しました。横断時の合図、停まってくれたドライバーへの会釈、横断歩道の積極的な利用と反射材の着用促進、歩行者保護意識の向上を図ることが目的だそうです。道路交通法には歩行者優先の原則が定められており、「謝意まで求めるのか」という意見がある一方、横断歩道で停止した車にお礼をする中学生を見て「心がほっこりしてうれしくなりました」という新聞への投書も見かけました。動画には、県内のキャラクター達もたくさん登場しています。多くの方に見ていただき、交通事故が一件でも減ることにつながればと切に願います。(k)

★つぎやき★

第 58 号

令和 5年 3月15日発行  
— 編集・発行 —  
豊津地区まちづくり委員会  
(情報発信専門部)

# とよつだより

## 第18回

# とよつかるた大会



### かるた大会各部門入賞者

- 【小学生低学年の部】(1・2年生)  
優勝 今泉 輝一いらいら てるかず  
2位 君和田身依きみわだ みよ 3位 山口 奏空やまぐち そうくう
- 【小学生中学年の部】(3・4年生)  
優勝 君和田 琴きみわだ こと  
2位 山口 花音やまぐち はなね 3位 鬼澤 由衣おにざわ ゆい
- 【小学生高学年の部】(5・6年生)  
優勝 山町 彩奈やまのまち さいな  
2位 鬼澤 菜奈おにざわ さいな 3位 中村 彩乃なかむら さいの
- 【一般の部】(中学生～64歳)  
優勝 山町 未来やまのまち みらい  
2位 君和田佑子きみわだ ゆうこ 3位 君和田美希きみわだ みき
- 【シニアの部】(65歳以上)  
優勝 君和田 美智子きみわだ みちこ  
2位 高木 清たかぎ しみず 3位 高木 文江たかぎ ふみえ



一月二十二日、新春恒例の『とよつかるた大会』を開催しました。  
今回は、残念ながら「幼児の部」の参加者がいなかったので、五部門での開催となりました。  
参加者が少ないながらも、各部門で熱のこもった札の取り合いが展開されました。  
主な結果は、左記のとおりです。

シニアの部



これからも頑張ります。皆さんも頑張ってください。

一般の部



朝、娘の特訓を受けてきた甲斐がありました。

高学年の部



地域文化が長く受け継がれているのがすごい。これからも守っていきたい。

中学年の部



また1位を取れて良かった。来年も取りたい。

低学年の部



練習しなくても1位を取る自信はあった。良かった。

優勝者コメント

# とよつまつり 賑わいました



十一月十二日・十三日に、「**第七回とよつまつり**」を開催しました。コロナ感染対策のため、作品展がメインとなりましたが、子どもからお年寄りまで多くの方が参加されました。

館内には、公民館で活動するクラブの作品のほか、豊津小学校、大船津保育園、ふたば保育園、たんぼほからの作品等も展示され、訪れた方々の目を楽しませてくれました。

また、館外では、初日に花苗の販売が行われたほか、クロッケー場では遊びの広場が設けられ、子どもたちが伸び伸びと遊んでいました。

また、「とよつまつり」といえば、『**わらアート**』が楽しみの一つですが、今回は巨大しまじろうが登場しました。また、サブライズでハンギョドン(写真・左上)も参加し、子どもたちは大喜びでした。



URL

Facebook(フェイスブック) : <https://www.facebook.com/toyotsumachi>  
 Twitter(ツイッター) : <https://twitter.com/toyotsumachi>

QRコード Facebook



Twitter





# 豊津地区

## 「コミュニティプラン」③

前号で豊津コミュニティプラン検討委員会を開催したことをお知らせしましたが、今回はそこで決定した内容と今後の進捗についてご報告します。

まず、検討委員会で行った令和五年度新規事業の絞り込みの結果、コミュニティプラン五本柱のうち、**自然環境・景観**（自治・産業）を除いた**歴史・教育**（健康・スポーツ）**福祉・防災**の三つの柱に掲げる事業について、取り組むこととしました。

それぞれの柱から選定した事業内容は、  
**歴史・教育**  
 ○豊津かるたを使った「語り部講座」  
**健康・スポーツ**  
 ○まち一番の健康寿命のすすめ  
**福祉・防災**  
 ○独居高齢者の避難誘導訓練  
 ○料理教室（非常時の簡単レシピ）  
 ○公民館だよりで知る簡単な防災力

計画年度が残り一年しかありませんので、できる事を第一に選定しました。

次に、これらの事業を具体化することについて検討しました。

その結果、できる事業を選んだということがあり、新規事業とはいえないものの、全く初めから組み立てるものではなく、既存の事業に少し付加する事で実施できるだろうという結論に至りました。

後は、事務局（公民館）で専門部ごとに既存事業を少し見直し、その中でコミュニティプラン事業を具体化していくこととなりました。

事務局として作成した案は、

▼まちづくり委員会

○独居高齢者の避難誘導訓練・・・独居高齢者・要介護者の避難誘導訓練と避難所での対応訓練

▼文化福祉専門部

○豊津かるたを使った「語り部講座」・・・とよつかるた大会の時に、幾つかの読み札を選び、それに関して詳しい人に話をしてもらう

▼料理教室（非常時の簡単レシピ）・・・避難訓練に合わせた男の料理教室

○健康づくり専門部  
 ○まち一番の健康寿命のすすめ・・・①健康講座として、座学（健康で長生きするためには）と実践（健康を保つための運動）の実施、②高齢者向けの健康チャレンジ

▼情報発信専門部

○公民館だよりで知る簡単な防災力・・・「とよつだより」で防災についての啓発

これらについて、十二月十五日に開催された第三回役員会において、まちづくり委員会役員と各専門部に對し、令和五年度事業計画に盛り込んでいただけるように説明・依頼をし、了解されました。



第三回役員会

## 今年4月から名称が 豊津公民館 に統一されます！

まちづくり委員会が設立され、行政と協働でのまちづくりが開始した平成十六年度から、鹿嶋市の地区公民館には「まちづくりセンター」の名前が付けられました。

同じ館に「公民館」と「まちづくりセンター」の二つ名称が付き、その使い分けが明確ではなかったため、その時々によって不規則に使われ、住民には分かりづらいものになっていました。

そこで、来年度からは「公民館」に名称を統一し、分かりやすくすることになりました。まちづくり委員会や事業内容等が変わりませんので、引き続き公民館活動へのご協力・ご参加のほどよろしくお願いいたします。

### 危険箇所がないか点検しました

二月十九日、地域環境専門部が毎年行っている「地域安全点検」を実施しました。道路の凸凹、カーブミラーの掃除・交換、今でも倒れそうなブロック塀等の補修を危険箇所として市担当者に改善要望します。

これまでの要望は全部とはいきませんが、改善されていますので、安全・安心なまちを目指し、引き続き活動してまいります。



URL

鹿嶋市ホームページ豊津公民館  
<https://city.kashima.ibaraki.jp/soshiki/118/>

QRコード



体力には自信があったのですが… 23人参加

12月4日、「スポーツ健康教室」を開きました。今回は、市スポーツ推進員連絡協議会の大岩会長を講師に招き、ラジオ体操と体力測定を行いました。身近なラジオ体操ですが、伸ばしたり、捻ったりする動作にはそれぞれ目的があることを教わり、あらためて奥深さを学びました。

その後、握力測定や体前屈、立ち幅跳びなどの体力測定を行い、「もっとできるはずだったのに…」とがっかりする姿も見られました。皆さん日頃からの運動が重要なことを再確認したようです。無理しない程度に運動しましょう！



「共に作り、共に食べる！」をモットーに 今年もよろしくお祈りします 13人参加

1月28日、「男の料理教室」を3年ぶりに開催しました。メニューはピザとコンソメスープ。ピザは生地から作り、定番の具材の他にシーフード、餅などをトッピングして、いろいろな味を楽しみました。(黙食です)

【参加者感想】ピザ作りは初めてでしたが、意外と簡単で、しかもとても美味しくできたので、自宅でも作ってみたいと思います。



今年一年の健康を願って歩きました 11人参加

1月15日、神の道(神の住むまち)の一部を利用して「新春ウォーキング」を行いました。

公民館を出発した参加者は、根本寺、城山公園を経て、鹿島神宮大鳥居から御手洗へ抜け、その後、千年塚古墳や天狗党の墓などをまわって公民館へ戻る約9kmのコースを楽しく歩きました。お疲れ様でした。



「ポッチャ」って楽しいね

●豊津地区ポッチャ大会

12月18日、豊津小学校体育館で「豊津地区ポッチャ大会」を行いました。ポッチャは、パラリンピックの正式種目で、白い目標球に相手チームよりいかに近づけられるかを競う種目です。最後の1投まで勝敗が分からないことから、参加者は興奮しながら競技を楽しみました。



●鹿嶋市地区対抗球技大会(ポッチャ)

1月21日、まちづくり市民センター体育室で「市地区対抗球技大会」が開かれ、市内の各地区公民館から4チームずつの計40チームが参加して、腕を競い合いました。

4チームずつに分かれたリーグ戦で、豊津A(斉藤幸子さん・木谷美枝子さん・箕輪きみさん・浅間栄子さん・和田勉さん)が見事にグループ1位になりました。おめでとうございました。!(^^)!



三世代がポッチャで交流

2月12日、下は3歳から上は86歳までの総勢28人が5グループに分かれて、ポッチャを通じた交流を図りました。

子どもたちは同好会の方々の技術の高さに驚きながらも、負けじとプレーしました。

<子どもたちの感想>

- ・やさしく教えてくれて、楽しかった。
- ・地域の方との思い出ができて、うれしかったです。



ずつと行きたかった「東国三社参り」に行ってきました。ちよつと気になって調べてみましたが、東国三社参りの順番に決まりはないそうです。ちなみに、私は鹿島神宮→香取神宮→息栖神社の順に行きました。香取神宮参道の売店で購入した甘酒がとても美味しかったです。甘くて、栄養価がたっぷり。昔から「飲む点滴」と言われるのにも納得。また飲みたいです。大船津の一之鳥居も竣工されてもうすぐ10年が経ちます。時々、地元周辺を巡っている人々を見かけることもあります。夕暮れ時の鳥居が神秘的で私は好きです。(N)

◆つばやき◆

この景色 いいね! ③



「豊津デジカメ部」の紹介として連載してきましたが、今回は最終回。四季折々にいろいろな表情が楽しめるこの豊津。皆さんのお気に入りスポットは、どこでしょうか?

※「豊津デジカメ部」では、仲間を募集しています。作品は館内掲示、とよつまつりでの展示のほか、フォトブック(1)として公民館窓口で頒布しています。写真に関心のある方は、どうぞお問い合わせください。



第59号

令和 5年 7月 1日発行
編集・発行
豊津地区まちづくり委員会
(情報発信専門部)

とよつだより

洪水想定避難訓練

鹿嶋市洪水ハザードマップを考える日

五月十四日は、豊津地区の各家庭で洪水災害への備えを確認する日でした。現在、市内に二十八地区の洪水ハザードエリア(洪水浸水想定区域)があり、豊津地区はそのエリアに含まれています。(3面参照)
本格的な出水期(六月〜十月)を迎えるにあたり、洪水から身を守るためにはどのような備えと行動が必要となるか、地区の代表者、市交防防災課等が豊津公民館に集まり確認を行いました。



確認事項

- 鹿嶋市洪水、土砂災害ハザードマップの確認
避難所(市町村の避難所、親戚、友人宅)や避難経路は大丈夫か?
近所に支援が必要な方はいないか?
非常時の持ち出し品の確認(飲料水、食料品、着替え、タオル、懐中電灯、携帯ラジオ、電池携帯充電器、通帳などの貴重品、常備薬等)
どのタイミングでどこへ避難するか日頃から考えておくことが重要です。

茨城トヨタから、災害時の電気自動車の活用について説明がありました。
災害発生時、小中学校や公民館等を避難所として開設しますが、避難場所での三密を避けるため、自分の車を避難所として選択することもできます。
平成二十八年熊本地震では、避難所での生活を避けようと多くの人が車で寝泊まりしました。電気自動車は四日ほど電気をまかなえるそうです。又、日頃よりガソリンは半分以下にしないようにマメな給油を心掛けましょう。



令和5年度の 区長さん です!



- 後列左から
大船津第3区長 小亀 祐一 さん
大船津新区長 宮崎 正美 さん
大船津第1区長 吉川 孝 さん

一年間よろしく お願いします

- 前列左から
爪 木 区長 今泉 富司 さん
大船津第2区長 藤枝 定夫 さん

本年度も事業にご協力ください

豊津地区まちづくり委員長 和田 勉

地域の社会構造や帰属意識の変化により、地域関係が希薄になっています。しかし、防犯や防災、福祉では、近所同士の助け合いがますます必要とされています。
まちづくり委員会は、地域組織の枠を超え、豊津地区全体のまちづくりを進める活動をしてきました。令和二年から新型コロナウイルス感染症の影響で活動を自粛していましたが、本年度は引き続き感染予防に留意しながらも事業を再開していきます。
地域の皆様と共に歩みを進め、より良い未来を築くためには、皆様のご支援とご協力が必要です。本年度もお一層のご理解とご協力をお願いします。

「コロナ」が五類に変わって

豊津地区公民館長 沢畑 好一

日頃より、公民館及びまちづくり事業にご協力いただきましてありがとうございます。
さて、マスク着用の生活が当たり前になってしまったこの頃ですが、コロナ感染症の位置付けは、GW明けの五月八日から第五類に変わりました。
まちづくり委員会の総会も通常の形で協議が進められ、リトルファームや豊津クリーン・防災避難訓練などを手始めに、令和五年度事業も順調にスタートしたところです。
今年度のまちづくり事業は、コミュニティプラン関連のものも進めてまいります。
職員一同、皆さんのサポートに努めてまいりますので、どうぞよろしくお願いいたします。

情報発信専門部ではFacebookでも豊津地区まちづくり委員会の情報を発信しています。(URL、QRコードは2面)
鹿嶋市のホームページでも豊津公民館の情報が見られます。(URL、QRコードは3面)

# サイクリングコース



## 第41回 北浦一周サイクリング

湖はみんなの宝 みんなの命

大雨で一日順延となった六月四日、今年で四十一回目となる「霞ヶ浦浄化キャンペーン 北浦一周サイクリング」が行われました。前日から打って変わり晴天となったこの日、四十一人の参加者（児童十七人、保護者十四人、関係者等十人）は、気持ち良くペダルをこぎ、無事完走しました。

北浦（霞ヶ浦）の水質はなかなか改善しませんが、湖は私たちの飲料水の水瓶であり、地域の大事な宝です。今後も引き続き、浄化を訴えていきたいと思えます。

（霞ヶ浦の水質 下図参照）

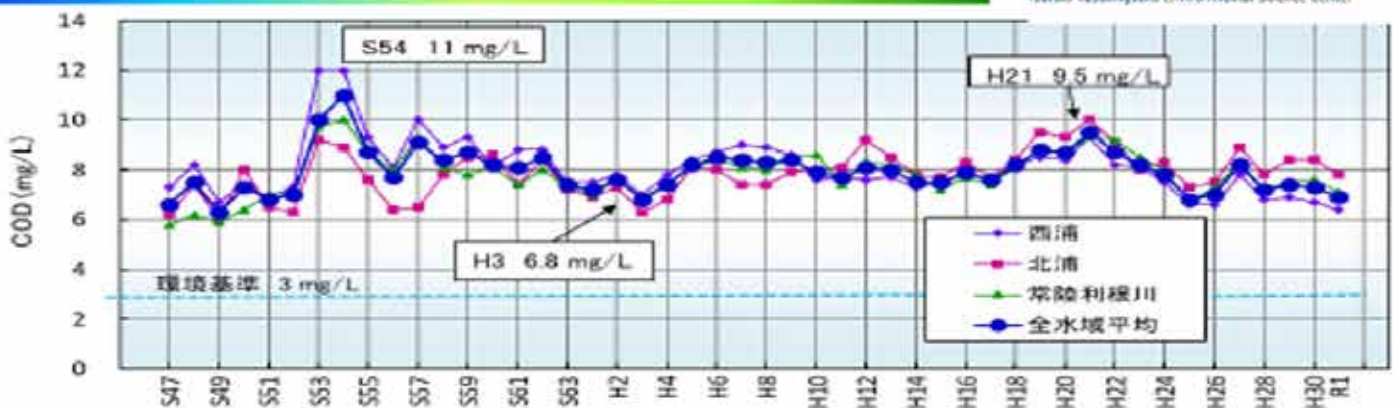
※COD値＝水中の有機物を酸素分解するのに必要な酸素の量を重さで表したものです。主に、湖沼の水質汚濁の程度を示す値として利用。数値が大きいほど、有機物が多いということになる。環境基本法に基づき定められたCODの基準値は3mg/l以下です。



霞ヶ浦の水質（COD）（年平均値）



茨城県霞ヶ浦環境科学センター  
Ibaraki Ramanigaura Environmental Science Center



URL

Facebook(フェイスブック) : <https://www.facebook.com/toyotsumachi>

QRコード Facebook



# 自然災害から身を守るために No.1

近年、地震や大雨等に伴う自然災害が激甚化・頻発化しています。ただ、この自然災害、いつ何時、身近に起きるか予想することは困難です。そのようなことから、個人個人で、そして家庭単位で防災に関する知識を深めていく必要があります。

令和3年度に策定した「豊津地区コミュニティプラン」の5本柱の1つに『福祉・防災』があり、その中で「公民館だよりで知る簡単な防災力」を事業に位置付けています。今年度のとよつだよりでは、本号(第59号)から3号連載で、防災に関する啓発記事を取り上げていきます。

※下の地図は「鹿嶋市洪水・土砂災害ハザードマップ」から豊津地区を抜粋したものです。

豊津地区の自然災害時の**地区避難場所**は次の通りです。

- 大船津第1・第2・第3区 ⇒ **豊津公民館**
- 大船津新田区 ⇒ **大船津保育園**
- 爪木区 ⇒ **爪木田園都市センター**

しかし、私たちの住む豊津地区の多くは、下のハザードマップでピンク色に着色された**洪水ハザードエリア(洪水想定区域)**であることから、洪水の恐れがある時は上記の地区避難場所ではなく、台地部にある**鹿島小学校・鹿野中学校・鹿島高校**等に避難することになります。

災害時には、防災行政無線やかなメール、エフエムかしまなどから情報入手し、適切な対応をお願いします。

## <3つの確認事項>

1. **避難所・避難経路は大丈夫ですか?**
2. **近隣住民に支援が必要な人はいませんか?**
3. **非常時の持ち出し品の準備はできていますか?**

### 浸水想定区域の色の見方



### 凡例

	避難所
	緊急避難場所
	市役所・出張所
	消防署・分署
	警察署・交番・駐在所
	医療機関
	郵便局
	公共施設
	国道
	主要地方道
	県道
	J 線
	R 線
	私鉄
	家屋倒壊等氾濫想定区域(氾濫流)
	土砂災害警戒区域
	土砂災害特別警戒区域



URL

鹿嶋市ホームページ豊津公民館  
<https://city.kashima.ibaraki.jp/soshiki/118/>

QRコード



### ソフトボール大会

5月21日、ト伝の郷運動公園でソフトボール大会を開催しました。各チーム、選手確保に苦勞されたようですが、区対抗の熱い戦いが繰り広げられました。



～おめでとう～

優勝 爪木区  
準優勝 大船津第三区

### 高齢者スポーツ大会

5月24日、高齢者スポーツ大会が開催されました。クロッケーの競技者が減ったため、今年度は輪投げとグラウンドゴルフの2種目で行われました。参加された皆さん、お疲れさまでした。

輪投げ	【結果】	グラウンドゴルフ
優勝 根本 芳子さん		優勝 坂本 好子さん
2位 齋藤 幸子さん		2位 小沼 義夫さん
3位 秋竹 千代さん		3位 高安 茂さん



### とよつキッズ リトルファーム

5月13日、夏野菜(枝豆・スイカ)の苗植えをしました。子どもたちは地域協力者の指導の下、移植ゴテで穴を掘り、一本一本丁寧に苗植えをしました。(参加:子ども13人、大人17人)

地方の子どもたちでも土いじりの体験が少ない昨今、リトルファームは土に触れて、汚れて、土の中の昆虫にも出会える貴重な体験です。

畑は公民館東側の市道沿いです。そばを通った際には足を止めてご覧になり、生育を見守っていただければ幸いです。収穫は8月頃を予定しています。



### ポッチャ 鹿行地区でブロック優勝



6月4日、カシマスポーツセンターで行われた鹿行地区スポーツ・レクリエーション大会(ポッチャの部)で、豊津第一チームがブロック優勝しました。

### 今年度の職員です。よろしくお願いします。

今年度の公民館職員は、沢畑好一館長、藤枝英夫主査、遠藤和子主事、石田藍主事、海老澤歩美主事、笹本地域福祉推進員と昨年度と同様ですが、海老澤主事が補助職員から主事となり、より充実した体制になっています。

まちづくり委員会をサポートし、事業を実施しますので、よろしくお願いします。



◆◆ つぶやき ◆◆

五月下旬、掘りたてのラッキョウをいただいたので、早速、甘酢漬を作りました。

長く伸びた根が畑の栄養分を吸収し、ギッシリと旨味が詰まっております。生でかじると歯ごたえがあり、辛味で背筋がシャキッとしました。漬けるまでにしたラッキョウは量ると六百三十グラム。漬け上がりは二週間後くらいだそうです。ラッキョウは腸内環境を整え、コレステロール値や中性脂肪の低下、血糖値の上昇を抑える働きがあるとか。

暑さが日に日に増していくこの時期、食欲がない時、夏バテ気味の時にピタタリの食べ物。どうぞ、美味しく漬けあげますように。

(Y)

**社協**

住み慣れた地域で 生きがい促進を

四月二十日、豊津地区社会福祉協議会(うらら会)の活動支援会議が行われました。

会議では、糟谷会長の進行により、昨年度の事業報告・決算報告の後、令和五年度の事業計画(案)と収支予算(案)が審議されました。

事業計画では、新型コロナウイルス感染症の影響も落ち着いてきたことから、地区内四つのサロン(サロン友結・サロン和・お茶っこ桜・サロンお茶っこ)の活動をコロナ前の状態に戻して再開するとともに、ふれあい遠足やスポーツ大会なども行っていく、介護講座や歳末高齢者訪問にも取り組んでいくことなどが提案され、参加者の同意を得て、原案承認されました。

皆さんもご協力をお願いします。



▲ 4月20日に行われた支援会議の様子

第 60 号

令和5年12月1日 発行  
 — 編集・発行 —  
 豊津地区まちづくり委員会  
 (情報発信専門部)

# とよつだより

「第16回 とよつふれあい運動会」は、あいにくの荒天のため一日順延され、9月24日に開催されました。

豊津小児童の競技・演技の合間に組み込まれた地区種目は、「クイズチャンピオン」「綱引き」「玉手箱」「輪になって鹿嶋(踊り)」「玉入れ」の5種目でしたが、いずれも地域の方と児童が一緒になって楽しむ、まさに「ふれあい、あふれる運動会となりました。

児童の対抗に合わせ、地区も大船津第1～3区が白組、大船津新田区と爪木区が赤組となり、熱い戦いを繰り広げました。結果、白組が優勝を飾りました。皆さん、お疲れさまでした。

※ 続く2面に、当日の写真をピックアップして掲載しましたので、ご覧ください。



全種目終了後、グラウンド中央で集合写真。みんな、やり切った良い笑顔です v(^ ^)v

「がんばるぞ 赤組・白組 地域とともに」  
**第16回 とよつふれあい運動会**

『チーム豊津』を持続させよう



増形 岳 実行委員長  
 (豊津小学校長)

まちづくり委員会に出席すると、毎度のことながら地域の皆さんの熱量に感動させられます。この「まち」の皆さんと児童たちが、手を取り合って運動会を創りあげることができたらどんなに素晴らしいだろうとずっと思いを馳せていました。

運動会当日は、グラウンド中に「ふれあい」が溢れていたと思います。このような取り組みが持続可能となるよう『チーム豊津』としてさらに一丸となる決意が増しました。関係者並びにご協力いただきました皆様にご感謝申し上げます。

赤組・白組 子どもたちと共に



和田 勉 副実行委員長  
 (まちづくり委員長)

平素より、まちづくり委員会の活動にご協力いただきまして、誠にありがとうございます。第16回とよつふれあい運動会が実施できたことを大変うれしく感じています。昨年度から午前中だけの開催となりましたが、これは今後とも継続されることと思っております。地区対抗が子どもたちと一体となった赤白対抗になり、気兼ねなく競技に参加・応援できるようなったと思います。これからも子どもたちの元気な競技を応援し、楽しく参加していただけることを期待します。

情報発信専門部ではFacebookでも豊津地区まちづくり委員会の情報を発信しています。(URL、QRコードは2面) 鹿嶋市のホームページでも豊津公民館の情報が見られます。(URL、QRコードは3面)



(写真説明) ※左上から時計回りに

- 1 元気よく選手宣誓!
- 2 クイズチャンピオンでの優勝にニッコリ (爪木区 君和田久美子さん)
- 3 児童と一緒に玉入れ 狙っているけど、なかなか思うように入りません...
- 4・5 児童による表現運動
- 6 綱引き 児童も一緒に ヨイショ!ヨイショ! 見ているほうも力が入りました
- 7 参加者一堂で「輪になって鹿嶋」
- 8 息を合わせて仲良く親子競技
- 9 最終種目の全校リレー みんなで応援



令和五年度豊津地区避難訓練

十月八日、まちづくり委員会主催の避難訓練が行われました。大きな地震が発生し、公民館に避難し避難所生活をするという想定下での訓練でした。(地域の方二十九名参加)

今回は、避難時要援護者支援と避難所体験が主目的でしたが、残念ながら要援護者支援は参加予定者が当日に不参加となりました。そのため、行うことができませんでした。避難所体験は、炊き出し班と避難所設営班に分かれて実施しました。

炊き出し班は、今回は水道やガス等のライフラインは生きているという設定にしたので、調理実習室を使用し、公民館で行っている「男の料理教室」のメンバーを中心に、おにぎりと味噌汁を調理しました。

避難所設営班は、会議室で段ボールベッドと簡易テントの設置を体験。簡易テントは張るのは簡単でしたが、収納が難しく、皆さん苦労していました。

最後は二班が合流して、炊き出しで作ったおにぎりや味噌汁を食べながら、市交通防災課からの話を聞き、意見交換。最後にアンケートを記載し、非常食、防災グッズをお土産にもらい解散となりました。

参加者の方からは、「災害はいつ襲ってくるかわからないので、訓練に参加し体験することでいざという時に役に立つ」との感想が聞かれました。今後もまちづくり委員会主催の避難訓練を行いますので、皆様の参加をお待ちしております。

URL

Facebook(フェイスブック) : <https://www.facebook.com/toyotsumachi>

QRコード Facebook





# 自然災害から身を守るために No.2

## 我が家のタイムラインを作ろう

災害は何時襲ってくるかわかりません。いざという時に逃げ遅れないように、災害時にやるべきことを確認しておく「我が家のタイムライン」を作成しておきましょう。

今回は茨城県が提供している様式を用いた作成方法をご紹介します。

作成したら、家の中の目立つ場所に貼っておき、災害時に内容等を確認しながら避難を行いましょう。また、内容に変更がある場合は見直すとともに、定期的に我が家のタイムラインの確認を含む避難行動開始の訓練を行いましょう。

茨城県ホームページ我が家のタイムラインは下のQRコードから見られます。



まず初めに、ハザードマップで自宅の災害リスクを確認しましょう。  
ハザードマップは、「とよっだより」第59号で取り上げています。私たちの住む豊津地区の多くは、洪水ハザードエリア(洪水想定区域)に含まれています。  
鹿嶋市ハザードマップを確認するには、右のQRコードから市ホームページを見てください。  
次に、我が家のタイムラインの作り方を説明します。



### 作成方法・作成例

- ① 名前を記入しましょう。
- ② 災害(浸水、土砂災害)が起きた時の避難先を記入しましょう。  
※避難先は市の避難所へ。  
または、ハザードマップで色が塗られていない親戚・友人宅などへ。
- ③ 避難先までの移動手段を記入しましょう。
- ④ 避難先までのおおよその移動時間を記入しましょう。
- ⑤ 避難する時に持っていくものを○で囲みましょう。
- ⑥ 避難するタイミングを決めて○でかこみましょう。  
・【警戒レベル3】高齢者等避難  
一緒に逃げる家族の中に、高齢者など避難に時間がかかる人がいる場合に選択。  
・【警戒レベル4】避難指示  
上記以外の場合に選択

その他の防災情報

- ・キキクル(危険度分布)  
災害(洪水、土砂災害)の危険度の高まりを確認できます。
- ・茨城県河川情報  
県内の河川の水位情報や、雨量情報などが確認できます



## 我が家のタイムライン【共通版】 (① 豊津家)

まず、ハザードマップで我が家の災害リスクを確認！  
点線に沿って丸で囲む。(両方の場合もある)

避難先(避難所、親戚宅、友人宅) ② 鹿野中学校	避難先までの移動手段 ③ 徒歩	避難先までの移動時間 ④ 20分
-----------------------------	--------------------	---------------------

注意すべきこと	気象・避難情報の発令	逃げ遅れないためにやるべきこと
---------	------------	-----------------

【警戒レベル1】  
[浸水害・土砂災害]  
気象：早期注意情報

【警戒レベル2】  
[浸水害]  
気象：大雨・洪水注意報  
河川：氾濫注意水位到達  
氾濫注意情報  
[土砂災害]  
気象：大雨注意報

【警戒レベル3】  
高齢者等避難が発令  
[浸水害]  
気象：大雨・洪水警報  
河川：避難判断水位到達  
氾濫警戒情報  
[土砂災害]  
気象：大雨警報(土砂災害)

【警戒レベル4】  
避難指示が発令  
[浸水害]  
気象：記録的短時間大雨情報  
河川：氾濫危険水位到達  
氾濫危険情報  
[土砂災害]  
気象：土砂災害警戒情報  
記録的短時間大雨情報

【警戒レベル5】  
[浸水害]  
気象：大雨特別警報  
河川：氾濫発生！  
氾濫発生情報  
[土砂災害]  
気象：大雨特別警報(土砂災害)

◆テレビやラジオで気象情報(台風情報)を確認する  
◆避難先、移動手段、移動時間を再確認する  
◆避難するときに持っていくものを確認する(○をつける)  
⑤ 飲料水、食料品、着替え、タオル  
懐中電灯、携帯ラジオ、電池、携帯充電器  
通帳などの貴重品、マスク、ウェットティッシュ  
常備薬、その他(スマートフォン)

◆避難しやすい服装に着替える  
※河川や水田、崖に近づくのはやめましょう

◆我が家が避難するタイミングは警戒レベル3  
◆高齢者など避難に時間のかかる人は避難を始める  
・どこに避難するか、家族や親戚に伝える。  
・(連絡する家族や親戚の電話番号：\_\_\_\_\_)

◆我が家が避難するタイミングは警戒レベル4  
◆危険な場所から全員避難する  
・近所の人に声をかけて一緒に避難する。  
・(声をかける相手：\_\_\_\_\_)

警戒レベル4までに「全員」が避難完了！

全員が避難完了のタイミング

警戒レベル5になってからでは「逃げ遅れ」になるリスク大！

【使い方】  
・家の中の目立つ場所に貼っておき、災害時に内容を確認しながら避難を行いましょう。  
・内容に変更がある場合は見直すとともに、定期的に我が家のタイムラインの確認を含む避難行動開始の訓練を行いましょう。

URL

鹿嶋市ホームページ豊津公民館  
<https://city.kashima.ibaraki.jp/soshiki/118/>

QRコード



# とよつきッズ



## ホテル見学会

7月2日(雨で1日延期) 参加者 72名 (子ども35名、大人37名)

始めに公民館でホテルについての学習会をしてから、2班に分かれて流川に出発しました。

今年は多くのホテルに出会えました。特に普渡寺の上流側では、今までにない数のホテルを見ることができました。

公民館に戻り、役員の方々や公民館職員の愛情一杯の手作りカレーをもらって解散。来年も多くのとよつのホテルに出会えることを願い、帰路につきました。(流川で見られるホテルは、ハイケポタルです。)



## 収穫祭

7月29日 参加者 32名 (子ども16名、大人16名)

公民館駐車場脇のリトルファームへ5月に植えた夏野菜(スイカ、キュウリ、枝豆、オクラ)と花(百日草、ヒマワリ)の収穫と花摘みをしました。

### 参加者の感想

- ・黄色いスイカを初めてたべました。とても甘かったです。(4年 吉川 葵 さん)
- ・オクラは成長しすぎると固くなるのがわかった。家で育ててみたい。(3年 坂本 梨帆 さん)
- ・みんなと協力して収穫することができました。(6年 遠藤 羽久 君)



※今年の夏は猛暑続きで、この日も朝からとにかく暑かった(35℃近い)。みなさん、お疲れ様でした。

## 移動教室

8月9日 参加者 23名 (子ども14名、大人9名)

ひたち海浜公園に行き、水のトンネル、シャブシャブ池、乗り物など、子どもたちは思いっきり遊んで来ました。



## 薬学セミナー

### 香水瓶に花束を パフュームボトルアレンジ

十月二十九日、山口智美さん(山口生花店)を講師に迎えて、パフュームボトルアレンジ教室を開催しました。パフュームボトルアレンジとは、透明な香水瓶の中に花を飾り付けるものです。華やかで可愛さも兼ね備えたフラワーアレンジです。

募集したところ、十四名の参加がありました。黄色・オレンジ系、青色・水色系、ピンク系の中からそれぞれ好きな色の花を選んでアレンジ。素敵なおパフュームボトルアレンジが完成しました。

今回の作品はとよつまつりで展示をして、皆さんにご披露しました。

次回の薬学セミナーも楽しみにしてください。



### ◆ つぶやき ◆

今年の夏は、気象庁の統計開始以降、「最も暑かった夏」となり、猛暑日の記録を更新したり、四十度を記録する地点があったりと、正に異常気象だったようです。

五月に新型コロナウイルスの5類移行もあり、マスクを外す方が増える一方で、今度はインフルエンザの流行。夏季にインフルによる学級閉鎖はこれまで考えられませんでした。夏が、多くの学校で発生しました。コロナ対策により、体内のウイルスの免疫力が低下したことが要因と言われます。まだ油断せず、うがいや消毒、状況に応じたマスク着用を続け、ウイルスに負けない体力作りも必要ですね。よし、明日からウォーキングを頑張ろう！(K)

第 61 号

令和 6 年 3 月 1 日発行  
— 編集・発行 —  
豊津地区まちづくり委員会  
(情報発信専門部)

# とよつだより

## 第十九回とよつかるた大会 活気で寒さ吹きとばせ



一月二十八日、恒例のかるた大会を開催しました。連日厳しい寒さに見舞われており、この日は幾分か緩んだ感がありましたが、暖房の効かない廊下ではブルッと身震いがする日でした。  
昨年度は参加者がいなかった幼児の部に今年度はエントリーがあり、二年ぶりに全六部門で賑やかに実施できました。いつも賑やかな一般の部から今年も元気な笑い声が響き渡り、全体的に活気あふれる大会となりました。

### 各部門優勝者

幼児の部 君和田 充樹 くん  
みつき

うれしゆうをいっばいした。たのしかった

低学年の部 今泉 輝一 くん  
きいち

うれしいです

中学年の部 山口 奏空 さん  
そら

うれしいです

高学年の部 浅間 柚羽 さん  
ゆきは

最後の出場が優勝できて良かった

一般の部 君和田 美希 さん  
みき

息子と一緒に練習して優勝できたので、うれしかった

V12 シニアの部 君和田 美智子 さん  
みちこ

出場できたことは元氣ということ。来年もよろしくお願いします

豊津地区コミュニティブランドの新規事業の一つである「かるたを使った地域の歴史や文化の伝承」を、かるた大会時に動画を発行いたしました。  
かるたで詠まれていた豊津の史跡や神社仏閣、自然景観、伝統事業などを、かるた大会時にいくつか紹介し、次の世代へ伝承していきます。  
かるたの解説は、ネット時代に合わせ、youtubeでお馴染みの魔理沙(まりさ)と霊夢(れいむ)がゆっくりと説明してくれました。  
今回は最初ということと、とよつかるた作成の経緯と「い」の札について説明しました。来年度以降残りの札を順次解説していきますので楽しみにしてください。

ゆつくりかるた解説

とよつかるたで豊津を知ろう!

豊津地区まちづくり委員会

情報発信専門部では Facebook でも豊津地区まちづくり委員会の情報を発信しています。(URL、QRコードは2面) 鹿嶋市のホームページでも豊津公民館の情報が見られます。(URL、QRコードは3面)

# 第28回 とよつまつり

11月11・12日に「第28回とよつまつり」を開催しました。

コロナ禍により、令和2年度から規模を縮小し作品展示中心になっていましたが、今年度はコロナ前に近い内容で実施できました。

初日は多少肌寒かったものの、模擬店や遊びの広場、芸能発表などを目当てに多くの人出があり、活気が戻ってきました。

2日目は展示だけで、天気もあいにく雨ということもあり、前日に比べて客足は減りましたが、その分落ちついてじっくりと見学している人の姿が見られました。

「集う・学ぶ・むすぶ」を念頭に、公民館で活動する各種団体の発表と地域住民の交流が図れ、学びのある楽しい2日間となりました。



模擬店



芸能発表



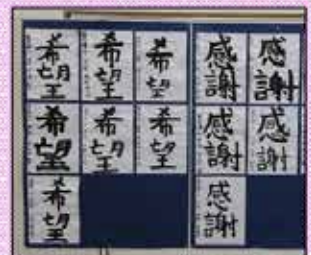
バランス  
ボール体験



遊びの広場



作品展



茨城県教育委員会・茨城新聞社  
主催の『第二十五回教育広報・N  
IEコンクール』で「とよつだよ  
り」が特別賞（茨城新聞茨城会長  
賞）に選出されました。

今号で第六十一号となる「とよ  
つだより」ですが、今回の受賞は  
これまでの積み重ねの賜物です。  
これまで「とよつだより」に関  
わってきた諸先輩方、  
そして毎号読んでい  
ただく皆さんに感謝  
するとともに、今後  
の活動の励みとした  
と思います。

特別賞

とよつだより特別受賞



URL

Facebook(フェイスブック) : <https://www.facebook.com/toyotsumachi>

QRコード Facebook



# 自然災害から身を守るために No.3

この度の能登半島地震で被災された方々に対し、心よりお見舞い申し上げます。

令和6年元旦に発生した能登半島を震源とする地震は、お正月気分を吹き飛ばす衝撃を日本国中に与えました。揺れによる建物の倒壊、そして津波、液状化現象など、平成23年3月に起きた東日本大震災に思いを重ねられた方も多かったのではないのでしょうか。

災害、特に地震は、いつ、どこで発生するかわかりません。そのようなことから、災害に対する普段の準備や心構えが大事だということをあらためて教えられました。

注意するのは、地震だけではなく、大雨や台風なども近年は激甚化・頻発化していることから、個人や家族単位で防災に関する知識を深め、そのような自然災害から自分たちの命を自分たちで守ることが必要になります。



しかし、自ら避難することが困難な方がいるのも事実です。特に、高齢や障がいを持つなど、災害時に支援が必要な方（避難行動要支援者）には、地域の皆さんが互いに協力して助け合う「共助」と、となり近所で助け合う「近助」による支援が求められます。

地域のつながりが強いここ豊津地区においてこそ、「共助」と「近助」の支援体制が整備された、災害に強い地域、さらには誰もが安心して暮らせる地域でありたいものです。

ところで、皆さんは、右の項目の確認（準備）はできていますか？このほかにも必要なことはいろいろとありますが、気づいた時に少しずつでも準備をしてください。

- 地区内の危険箇所
- 災害時の避難場所と、そこまでの経路
- 近隣に住む避難活動要支援者
- 非常持出し品
- 家庭内の備蓄品（ローリングストック）

重要なポイントがもう1つ。正確で新しい情報を入手することです。災害時には停電も十分に想定されますので、ラジオや電池の準備も忘れないでください。ここ鹿嶋市には「エフエムかしま（76.7MHz）」という地域コミュニティFM局があります。東日本大

震災の際には、昼夜にわたってラジオから流れてくる気象情報や災害支援情報に恩恵を受けた方も多くいらっしゃるでしょう。また、LINEや「鹿嶋市かなめーる」、鹿嶋市統合型アプリ「かしまナビ」でも、必要な情報を入手することができます。また、鹿嶋市では<sup>※1</sup>「VACAN（バカン）」というサービスを利用し、避難所の開設状況や混雑状況を知ることができます。いざという時のために、平常時からこれらのサービスが利用できるような準備をお勧めします。

<sup>※1</sup>（鹿嶋市HP）<https://city.kashima.ibaraki.jp/soshiki/34/19736.html>

災害はいつ起きるかわかりません。身を守るため、ご自身の周りを再点検してみましょう。

前計画同様、鹿嶋市市民憲章に沿い【自然環境・景観】【歴史文化・教育】【健康・スポーツ】【福祉・防災】【自治・産業】別に将来像、活動方針、具体的に実施する事業を定めています。当計画では、この事業をまちづくり委員会事業として実施してまいります。今回も計画概要版の全戸配布を行いますので、ご一読ください。

この計画が令和5年度で終了しますので、今年度次期計画を作成しました。作成に当たっては、計画の達成状況の把握、成果の評価をし、事業の見直し等を行っております。特に事業の推進力強化を図るため、計画の実施主体を豊津まちづくり委員会に明確化し、計画名を「豊津地区まちづくり事業計画」（第2次豊津地区コミュニティプラン）としています。

まちづくり委員会の事業計画ですので、計画内容の検討、決定は、豊津地区内の五つの区の区長・副区長を加えたまちづくり委員会役員会が行いました。

「豊津地区コミュニティプラン」をご存じでしょうか。令和2年度に作成した計画で、これまでとよつだよりで何度か取り上げていますし、概要版を全戸配布しましたので、一度はご覧になったことがあるのではないのでしょうか。内容は、こうした豊津にしたいという将来像を描き、それを地域の皆さんで達成する手段をまとめたものです。

現在も未来も住みたいまち

「豊津」にしよう！

URL

鹿嶋市ホームページ豊津公民館  
<https://city.kashima.ibaraki.jp/soshiki/118/>

QRコード





第 6 2 号

令和 6 年 7 月 1 日発行  
— 編集・発行 —  
豊津地区まちづくり委員会  
(情報発信専門部)

# とよつだより

## 豊津地区まちづくり委員会 発足二十周年

平成十六年五月七日、公民館を拠点に、地域住民が主体的にまちづくりを担う組織として発足した「豊津地区まちづくり委員会」の第一回総会が開催されました。

それまでは市職員が企画・実施していた公民館事業をまちづくり委員会が受託し、住民自らが事業を企画運営し、地域づくりを進めていく「地域管理・運営型」の活動が始まったのです。

発足から今年で二十周年となり、まちづくり委員会は地域にしっかりと根付きました。豊津小と合同で行う「とよつふれあい運動会」や「とよつまつり」など年間を通し、様々な事業が行われ、地域の絆づくりに貢献しています。

発足十周年となった平成二十六年に豊津地区まちづくり委員会十周年記念誌「豊津のあゆみ」を発行しました。内容は、まちづくり委員会の発足から関わってきた方々の思いや「とよつだより」による事業の振り返りなど十年の歴史を物語るものでした。

今年度二十周年を迎えるにあたり、「歴史は引き続き残すべきである」との考えから、総会で「とよつのあゆみ2」の発刊についてご承認いただきました。今回は二十周年記念誌というよりは、資料集的な内容で今年度事業として作成していく方針です。

具体的には今後詰めてまいります。今年度内には皆様にお示しできる予定です。

### 歴代委員長



四代目  
(H27年度～)  
和田 勉 委員長



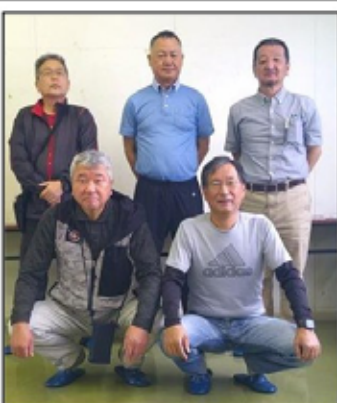
三代目  
(H20～26年度)  
飯島 亘隆さん



二代目  
(H19年度)  
君和田 元浩さん(故人)



初代  
(H16～18年度)  
額賀 富雄さん



### 令和六年度区長紹介

一年間よろしくお願ひします

後列左から  
青野 均 新田区長  
小池 健一 大船津第一区長  
重田 敏美 爪木区長  
前列左から  
和田 勉 大船津第二区長  
海老澤 博 大船津第三区長

### 主な事業

左から とよつキッズ(収穫祭)・  
とよつまつり・とよつふれあい運動会



### 令和6年度まちづくり委員会役員

一年間よろしくお願ひします

委 員 会	委員長	和田 勉	副委員長	海老澤 良政
	幹事	黒須 ゆき	幹事	中村 浩一郎
	監事	野口 典子	監事	笹本 恵子
地域環境専門部	部長	海老澤 博	副部長	浜田 一幸
健康づくり専門部	部長	大川 悟	副部長	青野 重寿
文化福祉専門部	部長	海老澤良政(兼任)	副部長	和田 勉(兼任)
情報発信専門部	部長	桐生 進一	副部長	根本 弘之

情報発信専門部では Facebook でも豊津地区まちづくり委員会の情報を発信しています。(URL、QRコードは2面)  
鹿嶋市のホームページでも豊津公民館の情報が見られます。(URL、QRコードは3面)

# 北浦一周サイクリング

## 今年も元気にできました!



▲鹿島神宮西の一の鳥居で、出発前の安全祈願と水質浄化祈願。私たちが『北浦の番人』です!  
▼北浦の番人たちの安全を守る「バイク隊(隊長:山町さん)」



▲思い出を語る箕輪 礼子さん(写真左)と交通安全を訴える交通安全母の会の黒須会長(写真右:一番右側)



▲今年の完走賞受賞者 君和田 琴さん



五月二十五日、豊津子ども会育成会との共催事業「霞ヶ浦浄化キャンペーン 第四十二回北浦一周サイクリング」を行いました。やや風があったものの天候に恵まれ、小学生十九人に加え、保護者やまちづくり委員、協力者など総勢五十四人が、黄色いタスキをかけ、北浦の水質浄化を訴えながらサイクリングを楽しみました。

開会式では、この事業を始めた箕輪礼子さん(元・豊津公民館館長)から「皆さんは、『北浦の番人』だ」という意識をもって取り組んでほしい」という挨拶があり、鹿嶋市交通安全母の会からは「くれぐれも交通ルールを守り、事故がないように」というお願いを受けて出発しました。

今年度は、中学生が六人参加といううれしい事業になりました。小学校を卒業すると時間が取りにくいこともあり、まちづくり事業への参加が少なくなるのですが、参加したみんなは久々のサイクリングを存分に楽しんでくれたようです。どうもありがとうございます。来年度の参加も待ってま〜す。

URL

Facebook(フェイスブック) : <https://www.facebook.com/toyotsumachi>

QRコード Facebook





# 豊津地区防災訓練を実施

現在、市内には28地区もの洪水ハザードエリア（洪水浸水想定区域）があり、ここ豊津地区はほぼ全域が洪水ハザードエリアとなっています。

本格的な出水期（6月～10月）を迎えるにあたり、5月12日、鹿嶋市との共催で、豊津地区防災訓練を行いました。豊津公民館はハザードエリア内に位置していますので、実際に洪水が発生した時には避難所にはなりませんが、今回の訓練は災害発生時の初動や避難所体験を主目的にしたものでしたので、地域住民の方が集まりやすい地元の公民館で実施しました。

洪水から身を守るためにはどのような備えと行動が必要か、避難所の運営はどのように行うのかなどについて、地区の代表者や住民、避難所担当の市職員が集まって確認を行いました。

玄関前で開会式をした後、避難所受付、段ボールベットや簡易テント（飛沫感染防止）の設置などの避難所体験、市交通防災課からの講話、協力企業（アクティオ、茨城トヨタ）からの災害対策の話聞いて訓練は終了しました。

災害はいつ起こるかわかりませんが、訓練で経験しておけばいざという時に役立ちます。今後も訓練を定期的に計画していきますので、皆さんの積極的な参加をお願いします。



市交通防災課職員の講話

## 協力企業の皆さん ありがとうございます



▲左：アクティオさんからは災害時に使えるレンタル品の紹介  
茨城トヨタさんからは車と防災の話：右▲

## <災害に備えて確認が必要なこと>

- 鹿嶋市洪水・土砂災害ハザードマップで、どこで  
どういう災害が想定されているのか
- 避難する場所（市町村の避難所、親戚・友人宅）  
や避難経路は安全か
- ご近所に支援が必要な方はいないか
- 非常時の持ち出し品の準備はできているか  
例：飲料水 食料品 着替え タオル 懐中電灯 携帯ラジオ  
電池携帯充電器 通帳などの貴重品 常備薬等

## 避難所体験



## 今年度の職員です。よろしくお願いします。



- 後列左から  
 藤枝 英夫 主査  
 笹本 恵子 地域福祉委員  
 沢畑 好一 館長
- 前列左から  
 石田 藍 主事  
 海老澤 歩美 主事  
 遠藤 和子 主事

昨年度と同じメンバーです



URL

鹿嶋市ホームページ豊津公民館  
<https://city.kashima.ibaraki.jp/soshiki/118/>

QRコード



## 高齢者スポーツ大会 輪投げ シニアクラブ、うらら会と共催

5月28日、高齢者スポーツ大会を行いました。(今年は、雨天のため輪投げ1種目だけ実施)

皆さん力加減を考え、集中して輪を的(まど)に投げていました。

主な成績は以下の通りです。

★優勝：糟谷 純子 2位：荒野 昭  
3位：黒須 ゆき <敬称略>

大会終了後、ポッチャ体験会も開催され、ポッチャ同好会の方の指導で投げるコツやルールを学びました。

大会、体験会と会場は声援と笑い声で溢れ、参加者は楽しい時間を過ごしました。



## とよつキッズ リトルファーム(苗植え)

今年度も地域で豊津の子を育てるとよつキッズを実施します。まず5月11日にリトルファームの苗植えを行いました。

豊津小の児童と保護者が、文化福祉専門部の方々の指導や支援を受けながら、夏野菜などを植えました。

スイカ、キュウリ、なす、ピーマンといった野菜が夏には立派に実り、百日草などの花がきれいに咲くように、この後も除草などに参加してください。今回観察カードを用意し、畑に来るたびに公民館でスタンプを押します。たくさん集めるといいことがあるかも。

丹精込めて育てた野菜の味は格別です。収穫祭に美味しくいただきます。

参加者 23人(うち小学生6人 幼児1人)



## スポーツ大会 けが無く無事終了 ソフトボール



6月2日、卜伝の郷運動公園で令和6年度のスポーツ大会(ソフトボール)を行いました。年々、出場者が減ってきているのが心配

の種ですが、夢中になってプレーした人、ホームランを狙っていた人、ボールとじゃれ合っていた(ように見えた)人、それぞれに心地よい時間を過ごしたと思います。その後、筋肉痛は大丈夫だったでしょうか。

今年度の大熱戦を制して優勝したのは、前年度覇者の爪木区。選手層が他区よりちょっと厚かったかなという感じでした。出場された皆さん、お疲れさまでした。

### ◆ つぶやき ◆

梅雨になり憂鬱な気分になっていませんか？

今回は、行動力を上げる為のやる気ホルモン(ドーパミン)の増やし方を紹介します。

一 運動をする(一日四十五分の運動を週三日すればドーパミンが増える)

二 音楽を聴く(自分が好きな音楽を聴くと、脳の側坐核が刺激され、ドーパミンが発生する)

三 太陽光を浴びる(強い光はドーパミンを増やす)

四 瞑想をする(継続して瞑想している人は、ドーパミン値が高いと言われている)

五 タンパク質を摂る(タンパク質不足でやる気が低下する。タンパク質は、ドーパミンの素になる) 皆さんもぜひ試してみてください。(N)

### 誰かが安心して暮らせる地域を目指して

豊津地区社会福祉協議会(糟谷純子会長 愛称・うらら会)の活動をサポートする活動支援会議が、四月十八日に開かれました(写真)。新型コロナウイルスの影響も落ち着いてきたことから、徐々に活動も元に戻っており、今年度においても各地区のサロン活動をはじめ、ふれあい遠足、ふれあいスポーツ大会、年末高齢者訪問などの事業計画が提案され、承認されました。

私たちの住む豊津地区の高齢化率は市内でも高い方ですが、高齢者が疎外感を持つことなく、充実した生活を送るためには地域全体での支え合いが必要です。どうぞ皆さんのご理解・協力をお願いいたします。活動に関心のある方は、公民館までお問い合わせください。



第 63 号

令和6年12月1日発行  
— 編集・発行 —  
豊津地区まちづくり委員会  
(情報発信専門部)

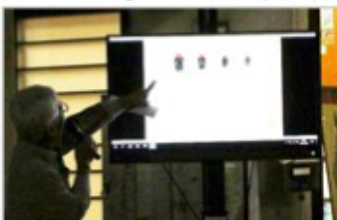
# とよつだより

記録に残る **暑い夏** でしたが **とよつキッズ**

**みんなの思い出にも残りました** 

### 今年も ホタル たくさんいました！

6月29日、毎年恒例のホタル見学会を実施しました。まず、公民館でホタルについての簡単な学習会をし、いざ流川へ。毎年、いるか、いないか心配しながらの開催ですが、今年は例年になく暑さも好影響だったのででしょうか、大船津公会堂より少し上流側で数えきれないほどのホタルを見ることができました。参加者は、飛び交うホタルの明かりを見ては、喜びの声を上げていました。(64人参加)  
※流川で見ることができるのは、「**ヘイケボタル**」です。一回り大きい「**ゲンジボタル**」という種類は、豊郷地区で見ることができそうです。運動会の「クイズ チャンピオン」で出題されるかもしれないので、忘れないように！



### スイカがたくさん採れました

7月27日、キッズファームで収穫祭を行いました。暑さのせい野菜の生長が早く、収穫祭まで持つてくれるか心配でしたが、スイカ・ナス・ピーマン・キュウリ・枝豆の収穫をすることができました。また、百日草などの花も摘み取りました。(22人参加)

収穫後は、場所を移動し、前日までに収穫して冷やしておいたスイカ、茹でた枝豆を楽しんだ後、最後にはかき氷を食べ解散になりました。



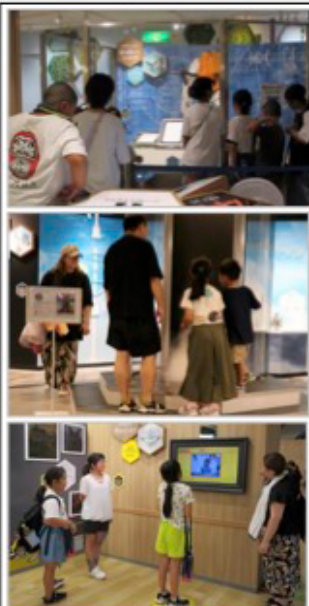
八月八日、日立市にある日立シビックセンターに行ってきました。(参加：児童二十人・家族十一人)

ここは、世界最高峰のプラネタリウムをはじめ、日本最大級の科学体験型ミュージアムなど、触って楽しめる展示物が多くあり、子どもたちは目を輝かせながら、次から次へと体験していました。きっと、夏休みの良い思い出になったことでしょう。

おもてなし体験 たんぽうたんぽもこた



- ★ 参加者の感想 ★
- ・ みんなと一緒に遊べて楽しかった(和土さん)
- ・ ドラえもんプラネタリウムが楽しかった(花音さん・碧さん)
- ・ ロボットが絵をかいてくれてびっくりした(芽依さん)
- ・ いろいろな体験ができて楽しかった(珠愛さん)
- ・ ドラえもん見て楽しかった(優奈さん)
- ・ 子どもたちが楽しそうで良かった(祐子さん)
- ・ 孫たちとの良い思い出になりました(ゆきさん)



情報発信専門部では Facebook、Instagram でも豊津地区まちづくり委員会の情報を発信しています。

(Facebook :URL、QRコードは2面 Instagram :URL、QRコードは4面)

鹿嶋市のホームページでも豊津公民館の情報が見られます。(URL、QRコードは3面)

# 第17回 とよつふれあい運動会

みんなと 地域の人と  
心に残そう 運動会

九月二十八日 今年も豊津小学校と合同で運動会を開催しました。

天気予報が運動会当日、予備日も雨になる時があり、今年中止かと一時心配しました。前日も雨が降る状況で、実施か延期か判断が難しいところでしたが、ぎりぎりまで天気予報を見て実施を判断。

結果、前日の雨は早目にあがり、当日はグラウンドにぬかるみはなく、雨の心配も要らない天候のもと、運動会を実施できました。

競技方法は昨年引き続き区対抗ではなく、新田区と爪木区が赤組、大船津第一・第二・第三区が白組に分かれ、児童の赤組、白組と一緒になっての紅白対抗戦形式で行いました。

対抗競技種目は「綱引き」と「玉入れ」。どちらも児童、地域の人だけで競技した後、とよつふれあい運動会らしく大人と児童が一緒の合同チームを組んでの勝負。合計三回の競技の結果、「綱引き」「玉入れ」とも白組が勝利。

これに児童の紅白対抗競技の点数を加えた総合得点は、赤組が百四十一点、白組が百四十六点となり、総合優勝は昨年に引き続き白組となりました。

紅白対抗競技以外にも、恒例の「クイズチャンピオン」「玉手箱」「輪になって鹿嶋」に多くの地域の方や児童たちが参加。とても楽しい運動会となりました。



## 豊津地区防災訓練2

9月7日、5月に続いて今年度2回目の防災訓練を実施しました。前回は避難所体験が主でしたので、今回は災害が起きてから避難所へ行くまでの間に何をすべきか、**初動**について訓練を行いました。

今回は、市の出前講座を活用して、交通防災課職員による『災害から身を守るために』の講演を聞きました。最初に、ハザードマップで自分が住むところの災害時の危険性を確認しました。そして、何処に、どう避難するか、避難のタイミングは何時か、何を持って避難するか、それらを「マイタイムライン」に書き込みました。これは、自宅のすぐ目の付く所に置いて（貼って）おくと、災害時に頼りになります。続いて、スマートフォンアプリ「yahoo! 災害速報」「全国避難所ガイド」を使い、災害発生時の情報収集方法等について教えていただきました。



災害が起きた時は、初動が生死を分けることがあります。いざという時のために、常日頃から備えておきたいですね。



訓練の繰り返しですが、最強の備えになります。

## 紅白対抗競技結果

◎総合優勝	白組
赤組	141点
白組	146点

◎綱引き	白組
児童	引き分け
地域	白組
混合	白組
◎玉入れ	白組
児童	白組
地域	赤組
混合	白組

URL

Facebook(フェイスブック) : <https://www.facebook.com/toyotsumachi>

QRコード Facebook



紅白対抗競技  
碓氷  
玉入れ



総合優勝  
白組  
(大船津第一、二、三区)

V2

地域と児童で  
輪になって鹿嶋



← クイズチャンピオン  
亀山 雄司 さん  
とよつの足じまん!!」に呼ばれた  
教育委員会からの助っ人でした。  
受賞の感想「嬉しさと申し訳なさ  
が半々です」



小学生の競技

高齢者と児童がペアで競技をしながら  
玉手箱(賞品)を取りに行きます。

玉手箱 →



こっちのDAIICIE



TOYOTSU  
オリンピック

エキシビジョンマッチ  
とよつの足じまん! 大集合(仮)

.....  
鹿嶋市スポーツ協会  
トヨタモーター  
ドリフトチーム  
スパータイチヤリス  
ハイパータイチヤリス  
P.T.A. 軍団

特別ゲスト タイツマン



息を合わせてハイポーズ  
(親子競技)



応援合戦

URL

鹿嶋市ホームページ豊津公民館  
<https://city.kashima.ibaraki.jp/soshiki/118/>

QRコード





八月二十九日、大船津の坂本光代さんを講師に迎え、クラフトテープを使ったバッグ作りをしました。参加者九人に対し、講師に加え三人のアシスタントが付き、懇切・丁寧な指導を受けて皆さん素敵なバッグをこしらえることができました。

このバッグを持って、何処にお出かけするのかな？

**楽学セミナー 手作りバッグ**

**豊津ハイキング 小町山**

10月20日 参加者14人

土浦市にある小町山は、県内ではあまり知られていない山ですが、地域の愛好家が登山道を整備している地域に愛された山です。

小町山とかわいい名前がついていますが、これは歌人として有名な小野小町が奥州に旅する途中、この地で亡くなったことに由来しているそうです。

「小町」という名から優しい山を想像していましたが、実際に登山始めると登山道は狭く険しく、更に雨上がりだったということから滑りやすく大変でした。

でも、その辛さと苦労があったからこそ、関東平野が一望できる山頂からの景色は格別で、最高なものと感じられたのでしょう。

余談ですが、途中にあったパラグライダー離陸場からの眺めは、下まで真逆さまに落ちそうで、ゾーっとして怖かったです。

豊津ハイキングでは、毎年近くの山を登っていますが、参加者が最近少ないのが残念です。今後も有名な山から隠れた名山まで、いろいろなところのハイキングを企画しますので、地域のみなさんご参加をお願いします。



**～自分の体力を知って健康維持・改善に役立てよう～**

7月21日スポーツ健康教室で体力測定を行いました。(握力・上体起こし・長座体前屈・開眼片足立ち)

参加者は和やかに種目をこなしながらもお互いの記録を気にし、真剣に取り組んでいました。今回の体力測定で得た結果は、現在の自分の体力を確認するだけでなく、今後の健康維持・改善の指標としてください。

測定終了後はシルリハ指導士の指導のもと、介護予防のための「シルバリーハビリ体操」を初体験しました。



**高齢者交通安全教室**

「交通安全を起こさない対策を学びました」

高齢化社会が進んでいる現在、高齢運転者による交通事故が大きな社会問題となっています。こうした問題に対応し、交通事故防止に対する意識向上を図ることを目的に、七月十八日に「高齢者交通安全教室」が開催されました。(参加二十人)

前半は鹿嶋警察署交通課長から、当市で発生した事故概況や反射材の効果的活用等の講話。後半は自動ブレーキ機能搭載車や電動車いすの体験。頭と体で交通安全について学びました。

交通事故の被害者や加害者にならないよう、ハンド

ルを握るときは常に緊張感を持ち安全運転を心掛けましょう。



◆ つぶやき ◆

今年元日の能登半島地震から始まり、記録的な猛暑、台風や線状降水帯による土砂崩れや冠水等、日本各地で目を覆いたくなるような自然災害が多く発生しました。

本紙でも防災啓発記事を掲載していますが、今やいつでも自然災害が発生してもおかしくない状況です。「この辺り(我が家は大丈夫)という考えを改め、まさかの時に備えたマイタイムラインの作成、備蓄品や持出し品の準備、防災アプリの登録、そして近所とのコミュニケーションなどについて、今一度確認をしてみませんか。

来年は穏やかな年になることを願います(S)

URL

Instagram (インスタグラム)

URL : <https://www.instagram.com/toyotsukouminkan>

QR コード Instagram

